

大学番号 私立252

注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

武庫川女子大学 建築学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人武庫川学院
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人室法人課

職名・氏名

電話番号 0798-45-3512

（夜間） 0798-45-3512

e-mail hozin@mukogawa-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

建築学部

＜建築学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	24
6. 附帯事項等に対する履行状況等	42
7. その他全般的事項	43

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人武庫川学院

(2) 大学名

武庫川女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒663-8121

兵庫県西宮市池開町戸崎町1-13

(〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオカワラ リョウ) 大河原 量 (平成13年9月)		
学長	(セグチ カズヨシ) 瀬口 和義 (平成30年4月)		
学部長	(オカザキ シゲユキ) 岡崎 甚幸 (令和2年4月)		
学科長	(ヤナギサワ カズヒコ) 柳沢 和彦 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
建築学部 建築学科 学士（建築学）	工学関係	4年	45人	年次人	180人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	45人 (-) [-]	— (-) [-]	45人 (-) [-]	— (-) [-]	1.17倍	一倍	
志願者数	786 (-) [-]	— (-) [-]	581 (-) [-]	— (-) [-]			
受験者数	678 (-) [-]	— (-) [-]	515 (-) [-]	— (-) [-]			
合格者数	211 (-) [-]	— (-) [-]	156 (-) [-]	— (-) [-]			
B 入学者数	56 (-) [-]	— (-) [-]	50 (-) [-]	— (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.24		1.11				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	56 [-] (-)	— [-] (-)	50 [-] (-)	— [-] (-)	
2 年次	/		56 [-] (-)	— [-] (-)	
3 年次	/		/		
4 年次	/		/		
計	56 [-] (-)		106 [—] (—)		

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	56 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	106 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{56} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{106} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<建築学部 建築学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2								1
	平安朝文学の世界	1前		2								1
	芭蕉をめぐる人々	1前		2								1
	雨月物語に込められた情念	1前		2								1
	芭蕉と旅	1後		2								1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後		2								1
	日本史の中の女性たち	1前・後		2								1
	日本の画像文化論	1前・後		2								1
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2								1
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2								1
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1								1
	音楽の科学	1前・後		2								1
	先端芸術表現	1前・後		1								1
	自己発見アート	1前・後		1								1
	未来造形	1前・後		1								1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1								1
	ミュージカルの実践	1前・後		1								1
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2								1
	日本の文化Ⅰ	1前		2								1
	日本の文化Ⅱ	1後		2								1
	遊びの人類学	1後		2								1
	SNSから日本語を見る	1前・後		2								1
	心理学入門	1後		2								1
	人間関係の心理学	1前・後		2								1
	心理学実践演習	1前		2								1
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2								1
	カウンセリングの実際	1前・後		2								1
	カウンセリングスキル	1前・後		2								1
	実践カウンセリング	1前・後		2								1
	生涯福祉論	1前・後		2								1
	社会福祉とボランティア	1前・後		2								1
	福祉レクリエーションの実際	1後		2								1
	子育てと家族関係	1前		2								1
	「ふつう」を考える社会学	1前・後		2								1
	子育てと母性の気づき	1前		2								1
	現代社会と憲法	1前・後		2								1
	外国から見た日本社会のしくみ	1後		2								1
	都市形成のあゆみと都市生活	1後		2								1
	消費者生活論	1前		2								1
	日本経済のしくみ	1前		2								1
	英語で学ばさいい経済学	1前		2								1
	英語で学ぶお金の知識	1後		2								1
	我々のくらしと日本の産業	1前・後		2								1
	環境心理学入門	1前・後		2								1
	教養としての法律	1前		2								1
暮らしと法律	1後		2								1	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2								1
	平安朝文学の世界	1前		2								1
	芭蕉をめぐる人々	1前		2								1
	雨月物語に込められた情念	1前		2								1
	芭蕉と旅	1後		2								1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後		2								1
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2								1
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2								1
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1								1
	音楽の科学	1前・後		2								1
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後		2								1
	先端芸術表現	1前・後		1								1
	自己発見アート	1前・後		1								1
	未来造形	1前・後		1								1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1								1
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2								1
	日本の文化Ⅰ	1前		2								1
	日本の文化Ⅱ	1後		2								1
	遊びの人類学	1後		2								1
	SNSから日本語を見る	1前・後		2								1
	心理学入門	1後		2								1
	人間関係の心理学	1前・後		2								1
	心理学実践演習	1前		2								1
	鎌倉時代の文学への誘い	1前・後		2								1
	日本近代文学の魅力Ⅰ	1前		2								1
	日本近代文学の魅力Ⅱ	1後		2								1
	平安時代の文学への誘い	1前・後		2								1
	合唱表現Ⅰ	1前		1								1
	合唱表現Ⅱ	1後		1								1
	書の世界	1前・後		2								1
	生と死の心理学	1後		2								1
	建築文化論	1後		2								1
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2								1
	カウンセリングの実際	1前・後		2								1
	カウンセリングスキル	1前・後		2								1
	実践カウンセリング	1前・後		2								1
	生涯福祉論	1前・後		2								1
	社会福祉とボランティア	1前・後		2								1
	福祉レクリエーションの実際	1後		2								1
	子育てと家族関係	1前		2								1
	「ふつう」を考える社会学	1前・後		2								1
	子育てと母性の気づき	1前		2								1
	現代社会と憲法	1前・後		2								1
	外国から見た日本社会のしくみ	1後		2								1
	消費者生活論	1前		2								1
日本経済のしくみ	1前		2								1	
英語で学ばさいい経済学	1前		2								1	
英語で学ぶお金の知識	1後		2								1	
我々のくらしと日本の産業	1前・後		2								1	
甲子園と阪神電鉄	1前		2								1	
建築と人間行動	1前		2					1			1	
まちづくりと地方自治の役割	1前・後		2								1	
環境心理学入門	1前・後		2								1	
教養としての法律	1前		2								1	
暮らしと法律	1後		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	生命科学入門	1前・後	2								1
	環境問題の歴史	1前	2								1
	科学技術の歩み	1後	2								1
	生命科学の基礎	1前	2								1
	生活の中の物理学	1後	2								1
	最先端物理学が描く宇宙	1後	2								1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後	2								1
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前	2								1
	色彩情報	1前・後	2								1
	科学から考える衣服と生活	1後	2								1
	文化を創造する数学	1前	2								1
	科学への入門	1前・後	2								1
	韓国文化の理解	1前・後	2								1
	中国文化論	1前・後	2								1
	World English I	1前	2								1
	World English II	1後	2								1
	世界の中の日本人	1前	2								1
	国際協力入門	1前	2								1
	大学生活入門	1前・後	2								1
	Japanese Culture Influence I	1前	2								1
	Japanese Culture Influence II	1後	2								1
	モラルジレンマから考える私	1前	2								1
	女性のためのマーケティング	1前・後	2								1
	アジアのなかのジェンダー	1前・後	2								1
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後	2								1
	女性と教育	1前・後	2								1
	メディアに見るジェンダー	1前・後	2								1
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後	2								1
	女性と家族のゆくえ	1前・後	2								1
	文章表現の基礎	1前・後	2								1
プレゼンテーションの基礎	1前・後	2								1	
日本語表現の基礎	1前・後	2								1	
自己アピールトレーニング	1前・後	2								1	
就活リテラシー	1前・後	2								1	
女性のためのライフプランニング	1前・後	2								1	
英語コミュニケーション I	1前・後	2								1	
英語コミュニケーション II	1前・後	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	生命科学入門	1前・後	2								1
	環境問題の歴史	1前	2								1
	科学技術の歩み	1後	2								1
	生命科学の基礎	1前	2								1
	生活の中の物理学	1後	2								1
	最先端物理学が描く宇宙	1後	2								1
	現代世界の教育	1前・後	2								1
	情報化と教育	1前・後	2								1
	メディアに映る女性	1前・後	2								1
	生きがい探しのボランティア論	1前・後	2								1
	女性と子どものヘルスケア	1後	2								2
	経営学入門	1前・後	2								1
	メディア技術と文字デザイン	1前	2								1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後	2								1
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前	2								1
	文化を創造する数学	1前	2								1
	科学への入門	1前・後	2								1
	数や図形の科学	1前・後	2								1
	身近な動植物の起源と歴史	1前・後	2								1
	生命の恒常性と情報伝達	1前・後	2								1
	健康を支える仕組み	1前・後	2								2
	生活習慣と心と身体の科学	1前・後	2								1
	薬の歴史と未来	1後	2								2
	薬とからだ	1後	2								2
	健康生活とライフステージ	1前	2								3
	医薬品概論	1前	2								2
	韓流ブーム	1前・後	2								1
	韓国文化の理解	1前・後	2								1
	中国文化論	1前・後	2								1
	World English I	1前	2								1
World English II	1後	2								1	
世界の中の日本人	1前	2								1	
国際協力入門	1前	2								1	
テレビ映像と現代社会	1前・後	2								1	
命を守る生体の機構と科学	1前・後	2								1	
モラルジレンマから考える私	1前	2								1	
女性のためのマーケティング	1前・後	2								1	
アジアのなかのジェンダー	1前・後	2								1	
ジェンダーとアイデンティティ	1前・後	2								1	
女性と教育	1前・後	2								1	
メディアに見るジェンダー	1前・後	2								1	
女性の身体とセクシュアリティ	1前・後	2								1	
ジェンダーと社会	1後	2								1	
女性が輝く社会づくり	1前・後	2								1	
セクシュアリティ入門	1前・後	2								1	
文章表現の基礎	1前・後	2								1	
プレゼンテーションの基礎	1前・後	2								1	
自己アピールトレーニング	1前・後	2								1	
キャリアビジョンと人物評価	1前・後	2								1	
女性のためのライフプランニング	1前・後	2								1	
キャリアと学び	1前	2								1	
卒業生が語る仕事と人生	1後	2								1	
仕事を考える	1前・後	2								1	
公務員の魅力	1前	2								1	
ヒューマンスキル入門	1前	2								1	
パーソナルコミュニケーション	1後	2								1	
チームで学ぶ課題解決	1前・後	2								1	
企業での女性活躍と働き方改革	1前・後	2								1	
企業で役に立つ情報収集と企画力	1前	2								1	
グローバル化と企業の海外展開	1後	2								1	
英語コミュニケーション I	1前・後	2								1	
英語コミュニケーション II	1前・後	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
												修
共通教育科目	英語コミュニケーションⅢ	1前・後	1									2
	英語コミュニケーションⅣ	1前・後	1									2
	英語リーディングⅠ	1前・後	1									1
	英語リーディングⅡ	1前・後	1									1
	英語ライティングⅠ	1前・後	1									2
	英語ライティングⅡ	1前・後	1									1
	TOEIC演習Ⅰ	1前・後	1									1
	TOEIC演習Ⅱ	1前・後	1									1
	TOEIC演習Ⅲ	1前・後	1									1
	TOEFL演習	1後	1									1
	Speaking & ListeningⅠ	2前	1									1
	Speaking & ListeningⅡ	2後	1									1
	Speaking & ListeningⅢ	3後	1									1
	Basics for PresentationⅠ	2前	1									1
	Basics for PresentationⅡ	2後	1									1
	Grammar for Communication	2前	1									1
	Reading & Writing	2後	1									1
	PresentationⅠ	3前	1									1
	PresentationⅡ	3後	1									1
	English for Careers	3前	1									1
	Reading & Discussion	3後	1									1
	Current EventsⅠ	4前	1									1
	Current EventsⅡ	4後	1									1
	Reading & Critical Thinking	4前	1									1
	Global CommunicationⅠ	4前	1									1
	Global CommunicationⅡ	4後	1									1
	Career Workshop	4後	1									1
	Writing for Daily Use	3前	1									1
	ドイツ語Ⅰ	1前・後	2									3
	ドイツ語Ⅱ	1前・後	2									1
	フランス語Ⅰ	1前・後	2									2
	フランス語Ⅱ	1後	2									1
	中国語Ⅰ	1前・後	2									3
	中国語Ⅱ	1前・後	2									3
	イタリア語Ⅰ	1前・後	1									1
	イタリア語Ⅱ	1前・後	1									1
	スペイン語Ⅰ	1前	2									1
	ハンブルⅠ	1前・後	2									2
	ハンブルⅡ	1後	2									2
	手話	1前	1									1
	特別英語演習Ⅰ	1前・後	4									1
	特別英語演習Ⅱ	1前・後	4									1
	特別中国語演習Ⅰ	1前	2									1
	特別中国語演習Ⅱ	1前	2									1
	特別ハンブル演習Ⅰ	1前	4									1
特別ハンブル演習Ⅱ	1前	4									1	
グラフィックデザイン基礎	1後	2									1	
フォトタッチ基礎	1前	2									1	
Webデザイン応用	1前・後	2									1	
Scratchによるプログラミング	1前・後	2									1	
情報社会を生きる技術	1前・後	2									1	
Accessデータベース基礎	1前・後	2									1	
データサイエンス入門	1前・後	2									1	
データサイエンス演習	1後	2									1	
スポーツと栄養	1前・後	2									1	
ダンス・ムーブメントセラピー	1後	2									1	
スポーツ実技(テニス)	1前・後	1									1	
スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後	1									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
												修
共通教育科目	英語コミュニケーションⅢ	1前・後	1									1
	英語コミュニケーションⅣ	1前・後	1									1
	英語リーディングⅠ	1前・後	1									2
	英語リーディングⅡ	1前・後	1									1
	英語ライティングⅠ	1前・後	1									2
	英語ライティングⅡ	1前・後	1									1
	TOEIC演習Ⅰ	1前・後	1									1
	TOEIC演習Ⅱ	1前・後	1									1
	TOEIC演習Ⅲ	1前・後	1									1
	TOEFL演習	1後	1									1
	TOEIC(初級)	1後	1									1
	Speaking & ListeningⅠ	2前	1									1
	Speaking & ListeningⅡ	2後	1									1
	Speaking & ListeningⅢ	3後	1									1
	Basics for PresentationⅠ	2前	1									1
	Basics for PresentationⅡ	2後	1									1
	Grammar for Communication	2前	1									1
	Reading & Writing	2後	1									1
	Presentation	3後	1									1
	English for Careers	3前	1									1
	Reading & Discussion	3後	1									1
	Current EventsⅠ	4前	1									1
	Current EventsⅡ	4後	1									1
	Reading & Critical Thinking	4前	1									1
	Global CommunicationⅠ	4前	1									1
	Global CommunicationⅡ	4後	1									1
	Career Workshop	4後	1									1
	ドイツ語Ⅰ	1前・後	2									2
	ドイツ語Ⅱ	1前・後	2									1
	フランス語Ⅰ	1前・後	2									2
	フランス語Ⅱ	1後	2									1
	フランス語ⅠA	1前	1									1
	フランス語ⅠB	1後	1									1
	中国語Ⅰ	1前・後	2									3
	中国語Ⅱ	1前・後	2									3
	イタリア語ⅠA	1前・後	1									1
	イタリア語ⅠB	1前・後	1									1
	スペイン語Ⅰ	1前	2									1
	ハンブルⅠ	1前・後	2									2
	ハンブルⅡ	1後	2									2
	手話	1前	1									1
	特別英語演習Ⅰ	1前・後	4									1
	特別英語演習Ⅱ	1前・後	4									1
	特別中国語演習Ⅰ	1前	2									1
	特別中国語演習Ⅱ	1前	2									1
特別ハンブル演習Ⅰ	1前	4									1	
特別ハンブル演習Ⅱ	1前	4									1	
WritingⅠ	3前	1									1	
WritingⅡ	3後	1									1	
グラフィックデザイン基礎	1後	2									1	
フォトタッチ基礎	1前	2									1	
Webデザイン基礎	1前・後	2									1	
Webデザイン応用	1前・後	2									1	
Scratchによるプログラミング	1前・後	2									1	
情報社会を生きる技術	1前・後	2									1	
Accessデータベース基礎	1前・後	2									1	
データサイエンスの基礎とExcel	1前・後	2									1	
データサイエンスの応用とExcel	1後	2									1	
スポーツと栄養	1前・後	2									1	
知っておきたい応急処置	1前	2									1	
女性の健康と運動	1前・後	2									1	
生涯スポーツ論	1後	2									1	
スポーツと現代社会	1前・後	2									1	
スポーツ実技(テニス)	1前・後	1									1	
スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後	1									1	

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
		必	選	自	教	准	講	助	助	
		修	択	由	授	授	師	教	手	
建築法規Ⅰ	1後	2								1
建築法規Ⅱ	3前	2								1
都市計画・デザイン論	2後	2								4
造園学	3後		2							1
測量実習	4前	2								1
建築フィールドワークⅠA	1前		1		5	7	1	1		1
建築フィールドワークⅠB	1後		1		5	7	1	1		1
建築フィールドワークⅡA	2前		1		6	7	1	1		
建築フィールドワークⅡB	2後		1		6	7	1	1		
建築フィールドワークⅢA	3前		1		6	7	1	1		
建築フィールドワークⅢB	3後		1		6	7	1	1		
建築フィールドワークⅣ	4前		1		6	7	1	1		
海外研修	2後		2			1				
小計(49科目)	-	100	19	0	6	7	1	1	0	41
合計(210科目)	-	114	283	0	6	7	1	1	0	148
卒業要件及び履修方法										
4年以上在学し、共通教育科目6単位以上(『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目からそれぞれ2単位以上」、基礎教育科目の中から14単位、専門教育科目の中から108単位以上、合計128単位以上を修得すること。なお、基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))										

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
		必	選	自	教	准	講	助	助	
		修	択	由	授	授	師	教	手	
建築法規Ⅰ	1後	2								1
建築法規Ⅱ	3前	2								1
都市計画・デザイン論	2後	2								4
造園学	3後		2							1
測量実習	4前	2								1
建築フィールドワークⅠA	1前		1		6	6	1	1		1
建築フィールドワークⅠB	1後		1		6	6	1	1		1
建築フィールドワークⅡA	2前		1		7	6	1	1		
建築フィールドワークⅡB	2後		1		7	6	1	1		
建築フィールドワークⅢA	3前		1		7	6	1	1		
建築フィールドワークⅢB	3後		1		7	6	1	1		
建築フィールドワークⅣ	4前		1		7	6	1	1		
海外研修	2後		2			1				
小計(49科目)	-	100	19	0	7	6	1	1	0	40
合計(255科目)	-	119	360	0	7	6	1	1	0	184
卒業要件及び履修方法										
4年以上在学し、共通教育科目6単位以上(『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目からそれぞれ2単位以上」、基礎教育科目の中から14単位、専門教育科目の中から108単位以上、合計128単位以上を修得すること。なお、基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))										

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2							1
	平安朝文学の世界	1前		2							1
	芭蕉をめぐる人々	1前		2							1
	雨月物語に込められた情念	1前		2							1
	芭蕉と旅	1後		2							1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後		2							1
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2							1
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2							1
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1							1
	音楽の科学	1前・後		2							1
	先端芸術表現	1前・後		1							1
	自己発見アート	1前・後		1							1
	未来造形	1前・後		1							1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1							1
	ミュージカルの実践	1前・後		1							1
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2							1
	日本の文化Ⅰ	1前		2							1
	日本の文化Ⅱ	1後		2							1
	遊びの人類学	1後		2							1
	SNSから日本語を見る	1前・後		2							1
	江戸時代と現代の道徳の比較	1前		2							1
	鎌倉時代の文学への願い	1前・後		2							1
	日本近代文学の魅力Ⅰ	1前		2							1
	日本近代文学の魅力Ⅱ	1後		2							1
	「昔話」と「昔語り」	1後		2							1
	平安時代の文学への願い	1前・後		2							1
	日本語と英語の比較	1前・後		2							1
	合唱表現Ⅰ	1前		1							1
	合唱表現Ⅱ	1後		1							1
	生活の中の美的感動表現	1前・後		1							1
	感性の書	1前・後		2							1
	書の世界	1前・後		2							1
	口承文芸入門	1前		2							1
	生と死の心理学	1後		2							1
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2							1
	カウンセリングの実際	1前・後		2							1
	カウンセリングスキル	1前・後		2							1
	実践カウンセリング	1前・後		2							1
	生涯福祉論	1前・後		2							1
	社会福祉とボランティア	1前・後		2							1
	福祉レクリエーションの実際	1後		2							1
	子育てと家族関係	1前		2							1
	「ふつう」を考える社会学	1前・後		2							1
	子育てと母性の気づき	1前		2							1
	現代社会と憲法	1前・後		2							1
	外国から見た日本社会のしくみ	1後		2							1
	都市形成のあゆみと都市生活	1後		2							1
	消費者生活論	1前		2							1
	日本経済のしくみ	1前		2							1
	英語で学ぶお金の知識	1後		2							1
我々のくらしと日本の産業	1前・後		2							1	
環境心理学入門	1前・後		2							1	
教養としての法律	1前		2							1	
暮らしと法律	1後		2							1	
生命科学入門	1前・後		2							1	
環境問題の歴史	1前		2							1	
科学技術の歩み	1後		2							1	
生命科学の基礎	1前		2							1	
生活の中の物理学	1後		2							1	
最先端物理学が描く宇宙	1後		2							1	
世界の大学事情	1前		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	現代世界の教育	1前・後	2								1
	情報化と教育	1前・後	2								1
	メディアに映る女性	1前・後	2								1
	災害と子ども・家族	1前	2								1
	生きがい探しのボランティア論	1前・後	2								1
	聴覚障害者の理解と手話	1前・後	2								1
	女性と子どものヘルスケア	1後	2								2
	経営学入門	1前・後	2								1
	情報と社会	1前・後	2								1
	メディア技術と文字デザイン	1前	2								1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後	2								1
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前	2								1
	色彩情報	1前・後	2								1
	文化を創造する数学	1前	2								1
	科学への入門	1前・後	2								1
	数的能力の発達過程	1前・後	2								1
	数や図形の科学	1前・後	2								1
	生態学的視覚論	1前	2								1
	視覚認知	1後	2								1
	身近な動植物の起源と歴史	1前・後	2								1
	生命の恒常性と情報伝達	1前・後	2								1
	健康を支える仕組み	1前・後	2								2
	生活習慣と心と身体の科学	1前・後	2								1
	韓国文化の理解	1前・後	2								1
	中国文化論	1前・後	2								1
	World English I	1前	2								1
	World English II	1後	2								1
	世界の中の日本人	1前	2								1
	漢字がつなぐ東アジア	1前・後	2								1
	大学生生活入門	1前・後	2								1
	Japanese Culture Influence I	1前	2								1
	テレビ映像と現代社会	1前・後	2								1
	命を守る生体の機構と科学	1前・後	2								1
	女性のためのマーケティング	1前・後	2								1
	アジアのなかのジェンダー	1前・後	2								1
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後	2								1
	女性と教育	1前・後	2								1
	メディアに見るジェンダー	1前・後	2								1
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後	2								1
	女性と家族のゆくえ	1前・後	2								1
	セクシュアリティ入門	1前・後	2								1
	文章表現の基礎	1前・後	2								1
	プレゼンテーションの基礎	1前・後	2								1
	日本語表現の基礎	1前・後	2								1
	自己アピールトレーニング	1前・後	2								1
	キャリアビジョンと人物評価	1前・後	2								1
	女性のためのライフプランニング	1前・後	2								1
	キャリアデザインとライフプラン	1前・後	2								1
	ヒューマンスキル入門	1前	2								1
	パーソナルコミュニケーション	1後	2								1
チームで学ぶ課題解決	1前・後	2								1	
企業での女性活躍と働き方改革	1前・後	2								1	
企業で役に立つ情報収集と企画力	1前	2								1	
グローバル化と企業の海外展開	1後	2								1	
英語コミュニケーションⅠ	1前・後	2								1	
英語コミュニケーションⅡ	1前・後	2								1	
英語コミュニケーションⅢ	1前・後	1								1	
英語コミュニケーションⅣ	1前・後	1								1	
英語リーディングⅠ	1前・後	1								2	
英語リーディングⅡ	1前・後	1								2	
英語ライティングⅠ	1前・後	1								1	
英語ライティングⅡ	1前・後	1								1	
TOEIC演習Ⅰ	1前・後	1								1	
TOEIC演習Ⅱ	1前・後	1								1	
TOEIC演習Ⅲ	1前・後	1								1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
共 通 教 育 科 目	TOEFL演習	1後		1								1	
	TOEIC(初級)	1後		1								1	
	Speaking & Listening I	2前		1								1	
	Speaking & Listening II	2後		1								1	
	Speaking & Listening III	3後		1								1	
	Basics for Presentation I	2前		1								1	
	Basics for Presentation II	2後		1								1	
	Grammar for Communication	2前		1								1	
	Reading & Writing	2後		1								1	
	Presentation	3後		1								1	
	English for Careers	3前		1								1	
	Reading & Discussion	3後		1								1	
	Current Events I	4前		1								1	
	Current Events II	4後		1								1	
	Reading & Critical Thinking	4前		1								1	
	Global Communication I	4前		1								1	
	Global Communication II	4後		1								1	
	Career Workshop	4後		1								1	
	ドイツ語 I	1前・後		2									3
	ドイツ語 II	1前・後		2									1
	フランス語 I	1前・後		2									2
	フランス語 II	1後		2									1
	フランス語 I A	1前		1									1
	フランス語 I B	1後		1									1
	中国語 I	1前・後		2									3
	中国語 II	1前・後		2									3
	イタリア語 I A	1前・後		1									1
	イタリア語 I B	1前・後		1									1
	スペイン語 I	1前		2									1
	ハンゲル I	1前・後		2									2
	ハンゲル II	1後		2									1
	手話	1前		1									2
	特別英語演習 I	1前・後		4									1
	特別英語演習 II	1前・後		4									1
	特別中国語演習 I	1前		2									1
	特別中国語演習 II	1前		2									1
	特別ハンゲル演習 I	1前		4									1
	特別ハンゲル演習 II	1前		4									1
	Writing I	3前		1									1
	Writing II	3後		1									1
	グラフィックデザイン基礎	1後		2									1
	フォトタッチ基礎	1前		2									1
	Webデザイン基礎	1前・後		2									1
	Webデザイン応用	1前・後		2									1
	情報社会を生きる技術	1前・後		2									1
	Accessデータベース基礎	1前・後		2									1
	データサイエンス入門	1前・後		2									1
	データサイエンス演習	1後		2									1
	スポーツと栄養	1前・後		2									1
	ダンス・ムーブメントセラピー	1後		2									1
障害者とスポーツ	1前・後		2									1	
知っておきたい救急処置	1前		2									1	
女性の健康と運動	1前・後		2									1	
スポーツ実技(テニス)	1前・後		1									1	
スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後		1									1	
スポーツ実技(バレーボール)	1前・後		1									1	
スポーツ実技(バドミントン)	1前・後		1									1	
スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後		1									1	
スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後		1									1	
スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後		1									1	
スポーツ実技(ダンスエアロ)	1前・後		1									1	
スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後		1									1	
スポーツ実技(遊びと障害)	1前・後		1									1	
スポーツ実技(ヨガ)	1前・後		1									1	
スポーツ実技(ビーチバレー)	1前・後		1									1	
スポーツ実技(水泳)	1前・後		1									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	スポーツ実技(サッカー)	1前・後		1								1
	スポーツ実技(エアリアルワーク)	1前・後		1								1
	からだどと気づきと姿勢法	1後		1								1
	学び発見ゼミ	1前・後		2			1					41
	小計(196科目)	-	0	341	0	0	1	0	0	0	0	144
基礎教育科目	初期演習 I	1前	1				1					
	初期演習 II (建築入門)	1後	1				1					
	建築英語 I	1前	2									2
	建築英語 II	1後	2									2
	建築英語 III	2前	2									2
	建築英語 IV	2後	2									2
	建築数学	1前	2			1						
	建築物理	1後	2				2					
	小計(8科目)	-	14	0	0	1	3	0	0	0	0	4
専門教育科目	空間表現演習 I	1前	5			1	3					9
	空間表現演習 II	1後	5			2	3					5
	建築設計演習 I	2前	5			1	3					5
	建築設計演習 II	2後	5			2	3					3
	建築設計演習 III	3前	6			1	4		1			4
	建築設計演習 IV	3後	6			3	2					2
	建築設計演習 V	4前	6			2	2					4
	図学・情報基礎演習 I	1前	2			1	3		1			1
	図学・情報基礎演習 II	1後	2			2	2		1			1
	CAD・CG応用演習 I	2前	2				2		1			
	CAD・CG応用演習 II	2後	2			1	1					
	卒業研究	4後	6			6	7	1	1			
	現代建築論	1前	2			1	1					
	建築設計計画 I	2前	2			2						1
	建築設計計画 II	2後	2			2	1					1
	建築設計計画 III	3前	2			3	1					
	建築設計計画 IV	3後	2			1						2
	日本建築史	1前	2				1					
	世界建築史	1後	2				1					1
	近代建築史	2前	2									1
	建築環境工学 I	2前	2				1					1
	建築環境工学 II	2後	2				1					1
	建築環境工学実験	2後	2				1					3
	建築環境工学 III	3後	2	2			1					1
	建築設備 I	3前	2									2
	建築設備 II	4前	2	2								2
	建築構造力学 I	2前	2				1					
	建築構造力学 II	2後	2				1					
	地盤・振動論	4前	2	2		1	1					1
	建築一般構造 I	1前	2				1					1
	建築一般構造 II	3前	2			1						1
	建築各種構造	3後	2	2			1					
	建築材料	3前	2				1					
	建築構造材料実験	3前	2			1	1					2
	建築生産	3後	2									1
	建築施工	4前	2									1
	建築法規 I	1後	2									1
	建築法規 II	3前	2									1
	都市計画・デザイン論	2後	2									4
	造園学	3後	2	2								1
測量実習	4前	2	2								1	
建築フィールドワーク I A	1前	1			5	7	1	1			1	
建築フィールドワーク I B	1後	1			5	7	1	1			1	
建築フィールドワーク II A	2前	1			6	7	1	1				
建築フィールドワーク II B	2後	1			6	7	1	1				
建築フィールドワーク III A	3前	1			6	7	1	1				
建築フィールドワーク III B	3後	1			6	7	1	1				
建築フィールドワーク IV	4前	1			6	7	1	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
	海外研修	2後		2			1					
	小計(49科目)	-	100	19	0	6	7	1	1	0	41	
	合計(253科目)	-	119	360	0	6	7	1	1	0	187	
卒業要件及び履修方法												
4年以上在学し、共通教育科目6単位以上(『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目」からそれぞれ2単位以上)、基礎教育科目の中から14単位、専門教育科目の中から108単位以上、合計128単位以上を修得すること。なお、基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「日本史の中の女性たち」を廃止。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「日本の画像文化論」を廃止。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「心理学入門」を廃止。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「人間関係の心理学」を廃止。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「心理学実践演習」を廃止。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「江戸時代と現代の道徳の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「鎌倉時代の文学への誘い」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「日本近代文学の魅力Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「日本近代文学の魅力Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に『「昔話」と「昔語り」』を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「平安時代の文学への誘い」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「日本語と英語の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「合唱表現Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「合唱表現Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「生活の中の美的感動表現」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「感性の書」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「書の世界」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「口承文芸入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「生と死の心理学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「英語で学ぶやさしい経済学」を廃止。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「世界の大学事情」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「現代世界の教育」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「情報化と教育」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「メディアに映る女性」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「災害と子ども・家族」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「生きがい探しのボランティア論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「聴覚障害者の理解と手話」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「女性と子どものヘルスケア」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「経営学入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「情報と社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「メディア技術と文字デザイン」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「科学から考える衣服と生活」を廃止。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「数的能力の発達過程」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「数や図形の科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「生態学的視覚論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「視覚認知」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「身近な動植物の起源と歴史」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「生命の恒常性と情報伝達」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「健康を支える仕組み」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「生活習慣と脳と心と身体の科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「科学から考える衣服と生活」を廃止。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「漢字がつなぐ東アジア」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「テレビ映像と現代社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「命を守る生体の機構と科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「Japanese Culture Influence Ⅱ」を廃止。
- ・ 共通教育科目構成の見直しにより「モラルジレンマから考える私」を廃止。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「セクシュアリティ入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・ 共通教育科目「就活リテラシー」の科目名を見直し、「キャリアビジョンと人物評価」に名称変更。
- ・ 教育課程充実のため、共通教育科目に「キャリアデザインとライフプラン」を追加し、「兼任教員1」を配置。

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ヒューマンスキル入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「パーソナルコミュニケーション」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「チームで学ぶ課題解決」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「企業での女性活動と働き方改革」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「企業で役に立つ情報収集と企画力」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「グローバル化と企業の海外展開」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語コミュニケーションⅢ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語コミュニケーションⅣ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語リーディングⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「TOEIC（初級）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「PresentationⅠ」「PresentationⅡ」のうち、「PresentationⅡ」を廃止、「PresentationⅠ」の科目名称を「Presentation」に、配当年次を「3後」にそれぞれ変更。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「Writing for Daily Use」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランス語ⅠA」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランス語ⅡA」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目「イタリア語Ⅰ」「イタリア語Ⅱ」の科目名を見直し、「イタリア語ⅠA」「イタリア語ⅠB」にそれぞれ名称変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「WritingⅠ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「WritingⅡ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Webデザイン基礎」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「Scratchによるプログラミング」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「障害者とスポーツ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「知っておきたい救急処置」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「女性の健康と運動」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（水泳）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（サッカー）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（エアリアルワーク）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「からだど気づきと姿勢法」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「マッサージ実習」を廃止。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目「学び発見ゼミ」の兼任・兼任教員の配置を「29」から「41（兼任33・兼任8）」に変更。

【令和3年度】

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランスの音楽と芸術文化」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「ミュージカルの実践」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築文化論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「都市形成のあゆみと都市生活」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「甲子園と阪神電鉄」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築と人間行動」を追加し、「専任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「まちづくりと地方自治の役割」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「色彩情報」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「薬の歴史と未来」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「薬とからだ」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「健康生活とライフステージ」を追加し、「兼任教員3」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「医薬品概論」を追加し、「兼任・兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「韓流ブーム」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「大学生生活入門」を廃止。
- ・共通教育科目構成見直しのため「Japanese Culture InfluenceⅠ」を廃止。
- ・共通教育科目構成見直しのため「女性と家族のゆくえ」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ジェンダーと社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「女性が輝く社会づくり」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「日本語表現の基礎」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「キャリアと学び」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「卒業生が語る仕事と人生」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「仕事を考える」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「公務員の魅力」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数変更のため、「ドイツ語Ⅰ」の教員配置を「兼任教員3」から「兼任教員2」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため「データサイエンス入門」の科目名を「データサイエンスの基礎とExcel」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため「データサイエンス演習」の科目名を「データサイエンスの応用とExcel」に変更。
- ・共通教育科目構成見直しのため「ダンス・ムーブメントセラピー」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生涯スポーツ論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツと現代社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「スポーツ実技（ビーチバレー）」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（バンジーエクササイズ）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（スタイルジャズ）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目「学び発見ゼミ」の兼任・兼任教員の配置を「29」から「39（兼任32・兼任7）」に変更。
- ・指導体制強化のため、「建築設計演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授2」から「准教授1」にそれぞれ変更。
- ・指導体制強化のため、「建築設計演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
- ・担当専任教員の職位変更（准教授から教授への昇格）に伴い以下の科目の専任教員等の配置を変更。
「建築物理」「空間表現演習Ⅱ」「卒業研究」「建築構造力学Ⅰ」「建築構造力学Ⅱ」「建築各種構造」「建築材料」「地盤・振動論」
「建築構造材料実験」「建築フィールドワークⅠA」「建築フィールドワークⅠB」「建築フィールドワークⅡA」
「建築フィールドワークⅡB」「建築フィールドワークⅢA」「建築フィールドワークⅢB」「建築フィールドワークⅣ」

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
44 科目	166 科目	0 科目	210 科目	44 科目 [0]	211 科目 [45]	0 科目 [0]	255 科目 [45]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	日本史の中の女性たち	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。併設短大において開講し、履修可能。
2	日本の画像文化論	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。併設短大において開講し、履修可能。
3	ミュージカルの実践	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
4	都市形成のあゆみと都市生活	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
5	色彩情報	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
6	大学生活入門	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。併設短大において開講し、履修可能。
7	Japanese Culture Influence I	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
8	Japanese Culture Influence II	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
9	女性と家族のゆくえ	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
10	日本語表現の基礎	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
11	Presentation II	1	3後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
12	Writing for Daily Use	1	3前	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
13	ダンス・ムーブメントセラピー	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
14	スポーツ実技(ビーチバレー)	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。併設短大において開講し、履修可能。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【所見】廃止科目はすべて「共通教育科目」の科目である。共通教育科目は全学部の学生が自由に選択でき、現代社会で通用する教養を養うことを目的に毎年度開講科目の見直しを行っており、廃止はその結果である。一方、同分野の内容を含む科目を多数新たに開講しており、教育に支障はないと判断している。また、併設短期大学において同内容の科目を開講し、受講を可能とする。

【学生への周知方法】
学生向けに共通教育専用サイトを開設し、共通教育の目的、科目構成等について周知を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{14}{210} = \boxed{6.66} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期 大学部（必要面積 14,000㎡）と共用 駐輪場取得、西北新 校舎敷地取得（3） かま一部庭庫竣工に伴う 用途変更（2） 校舎敷地と別地 （徒歩10分） 借用面積：1,129.19㎡ 借用期間：27年8月 （令和30年11月まで） 甲子園口寮取得 （2）		
	校 舎 敷 地		77,280.48 73,384.59		145,320.08 141,424.19			
	運動場用地	68,039.60 ㎡	72,518.66 ㎡	0 ㎡	140,558.26 ㎡			
	小 計	68,039.60 ㎡	169,783.23 165,887.34	0 ㎡	237,822.83 233,926.94			
	そ の 他	0 ㎡	9,627.66 8,404.89	0 ㎡	9,627.66 8,404.89			
	合 計	68,039.60 ㎡	179,410.89 175,515.00	0 ㎡	247,450.49 243,554.60			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期 大学部（必要面積 10,450㎡）と共用 景観建築スタジオ東 館新築、同面積差異 修正、甲子園会館内 研究所用途変更、西 北新校舎取得、マル ティ17館内研究所用 途変更（3） ステーションキャンパス・公江 記念館竣工に伴う面 積差異修正（2）			
		72,132.21 71,726.26	120,147.32 114,909.81	0 ㎡		192,279.53 186,636.07		
	72,010.29 ㎡	115,605.29 ㎡	0 ㎡	187,615.58 ㎡				
	(69,363.31) (67,972.36)	(116,078.32) (110,840.81)		(185,441.63) (179,813.17)				
	(68,256.39 ㎡)	(111,536.29 ㎡)	(0 ㎡)	(179,792.68 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	153 室	208 室	442 室	12 室 (補助職員 1人)	4 室 (補助職員 3人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			大学全体		
	建築学部 建築学科		15 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・電 子ジャーナル・視聴 覚資料については、 学部単位での特定不 能なため、大学全体 の数
	建築学部	688,270 [165,053] (688,270 [165,053])	9,489 [1,925] (9,489 [1,925])	60,886 [1,925] (60,886 [55,801])	14,140 (14,140)	2,852 (2,817)	0 (0)	
	計	688,270 [165,053] (688,270 [165,053])	9,489 [1,925] (9,489 [1,925])	60,886 [55,801] (60,886 [55,801])	14,144 (14,140)	2,852 (2,817)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数	大学全体				
	12,499.61 ㎡	1,716	868,000					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					スタジアム新設（2） 大学全体	
	17,497.24 17,308.50 ㎡	総合スタジアムスタンド、各グラウンド内のトイレ、更衣室、 ステーションキャンパス内トレーニングスタジオ						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には、電子 ジャーナル、データ ベースの整備費（運 用コスト含む）を含 む。
		教員1人当り研究費等	433千円	433千円	図書購入費	5,240千円	5,240千円	
	共同研究費等	9,100千円	9,100千円	設備購入費	38,200千円	38,200千円	38,200千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,460千円	第2年次 1,540千円	第3年次 1,540千円	第4年次 1,540千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA/C対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		武庫川女子大学					学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	取容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
文学部	4	510	3年次67	2,424	—	0.97	0.90	—	昭和33	—	
日本語日本文学科	4	150	3年次25	650	学士 (日本語日本文学)	0.97	0.89	—	昭和33	兵庫県西宮市池開町6番46号	
英語文化学科	4	200	3年次25	850	学士 (英語文化学)	0.96	0.92	—	昭和33	同上	
教育学科	4	—	—	250	学士 (教育学)	—	—	—	昭和38	同上	平成31年4月学生募集停止、3年次編入学定員は令和3年4月学生募集停止
心理・社会福祉学科	4	160	3年次17	674	学士 (心理学)又は (社会福祉学)	0.98	0.89	—	平成12	同上	
教育学部	4	240	3年次25	745	—	0.94	0.92	令和元	令和元	—	
教育学科	4	240	3年次25	745	学士 (教育学)	0.94	0.92	令和元	令和元	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和元年度設置
健康・スポーツ科学部	4	180	3年次20	730	—	0.99	0.88	令和元	平成23	—	
健康・スポーツ科学科	4	180	3年次20	730	学士 (健康・スポーツ科学)	0.99	0.88	令和元	平成23	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和元年度定員変更(30)、3年次編入学(5)
生活環境学部	4	315	3年次30	1,765	—	0.98	1.02	令和元	平成6	—	
生活環境学科	4	165	3年次20	665	学士 (生活環境学)	1.00	1.01	令和元	平成6	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和元年度定員変更(35)
食物栄養学科	4	—	3年次10	420	学士 (食物栄養学)	—	—	—	平成6	同上	令和2年4月学生募集停止、3年次編入学定員は令和4年4月学生募集停止
情報メディア学科	4	150	—	600	学士 (情報メディア学)	0.99	1.02	—	平成6	同上	
建築学科	4	—	—	80	学士 (建築学)	—	—	—	平成18	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年4月学生募集停止
食物栄養科学部	4	280	—	560	—	0.85	0.78	令和2	令和2	—	
食物栄養学科	4	200	—	400	学士 (食物栄養学)	0.89	0.79	令和2	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和2年度設置
食創造科学科	4	80	—	160	学士 (食創造科学)	0.77	0.78	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
建築学部	4	85	—	170	—	1.05	0.96	令和2	令和2	—	
建築学科	4	45	—	90	学士 (建築学)	1.17	1.11	令和2	令和2	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年度設置
景観建築学科	4	40	—	89	学士 (景観建築学)	0.92	0.80	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
音楽学部	4	50	—	200	—	0.82	0.64	—	平成21	—	
演奏学科	4	30	—	120	学士 (声楽)又は(器楽)	0.63	0.43	—	平成21	兵庫県西宮市池開町6番46号	
応用音楽学科	4	20	—	80	学士 (応用音楽)	1.10	0.95	—	平成21	同上	
薬学部(6年制)	6	210	—	1,260	—	0.89	0.58	—	平成18	—	
薬学科	6	210	—	1,260	学士 (薬学)	0.89	0.58	—	平成18	兵庫県西宮市甲子園九番町11番68号	
薬学部(4年制)	4	40	—	160	—	0.83	0.75	—	平成18	—	
健康生命薬科学科	4	40	—	160	学士 (薬科学)	0.83	0.75	—	平成18	同上	
看護学部	4	80	—	320	—	0.99	1.03	—	平成27	—	
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	0.99	1.03	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号	
経営学部	4	200	—	400	—	1.07	0.85	令和2	令和2	—	
経営学科	4	200	—	400	学士 (経営学)	1.07	0.85	令和2	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和2年度設置
大学全体	—	2,190	3年次142	8,743	—	0.94	—	—	—	—	

大学の名称	武庫川女子大学大学院					学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	2	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
文学研究科											
日本語日本文学専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(文学)	0.37	0.16	—	昭和46	兵庫県西宮市池開町6番46号	
日本語日本文学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(文学)	0.22	0.33	—	平成3	同上	
英語英米文学専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(文学)	0.08	0.16	—	昭和46	同上	
英語英米文学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(文学)	0.44	0.00	—	平成12	同上	
教育学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(教育学)	0.24	0.16	—	平成17	同上	
臨床心理学専攻(修士課程)	2	20	—	40	修士(臨床心理学)	0.57	0.65	—	平成11	同上	
臨床教育学研究科											
臨床教育学専攻(修士課程)	2	16	—	32	修士(臨床教育学)	0.77	0.43	—	平成6	同上	
臨床教育学専攻(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(臨床教育学)又は(教育学)又は(臨床心理学)	0.38	0.33	—	平成9	同上	
健康・スポーツ科学研究科											
健康・スポーツ科学専攻(修士課程)	2	20	—	40	修士(健康科学)又は(スポーツ科学)	0.22	0.15	—	平成23	同上	
生活環境学研究科											
食物栄養学専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(食物栄養学)	0.45	0.50	—	昭和41	同上	
食物栄養学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(食物栄養学)	1.00	0.50	—	平成2	同上	
生活環境学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(生活環境学)又は(情報学/IT学)	0.08	0.00	—	平成12	同上	
生活環境学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(生活環境学)又は(情報学/IT学)	0.16	0.00	—	平成12	同上	
建築学専攻(修士課程)	2	—	—	—	修士(建築学)	—	—	—	平成18	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年4月学生募集停止
建築学専攻(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(建築学)	—	—	—	平成18	同上	令和2年4月学生募集停止
建築学研究科											
建築学専攻(修士課程)	2	22	—	44	修士(建築学)	0.99	0.86	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
建築学専攻(博士後期課程)	3	2	—	4	博士(建築学)	0.25	0.00	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
景観建築学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(景観建築学)	2.33	2.33	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
景観建築学専攻(博士後期課程)	3	1	—	2	博士(景観建築学)	0.00	0.00	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
薬学研究科											
薬学専攻(博士課程)	4	2	—	8	博士(薬学)	0.12	0.50	—	平成24	兵庫県西宮市甲子園九番町11番68号	
薬科学専攻(修士課程)	2	30	—	60	修士(薬科学)	0.24	0.26	—	平成22	同上	
薬科学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(薬科学)	1.16	0.50	—	平成24	同上	
看護学研究科											
看護学専攻(修士課程)	2	15	—	27	修士(看護学)	0.84	0.86	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和3年度定員変更(3)
看護学専攻(博士後期課程)	3	5	—	11	博士(看護学)	2.04	0.80	—	平成29	同上	令和3年度定員変更(2)
大学院全体	—	205	—	430	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	武庫川女子大学短期大学部					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍			
日本語文化学科	2	100	—	200	短期大学士 (日本語文化)	0.84	0.61	—	昭和26	兵庫県西宮市池開町6番46号
英語キャリア・コミュニケーション学科	2	100	—	200	短期大学士 (英語コミュニケーション)	0.67	0.40	—	昭和25	同上
幼児教育学科	2	150	—	300	短期大学士 (幼児教育学)	0.56	0.38	—	昭和26	同上
心理・人間関係学科	2	100	—	200	短期大学士 (心理・人間関係)	0.75	0.55	—	昭和62	同上
健康・スポーツ学科	2	80	—	160	短期大学士 (健康・スポーツ)	0.59	0.48	—	昭和30	同上
食生活学科	2	80	—	160	短期大学士 (食生活)	0.62	0.62	—	昭和26	同上
生活造形学科	2	90	—	180	短期大学士 (生活造形)	0.85	0.74	—	昭和25	同上
短期大学全体	—	700	—	1,400	—	0.69	—	—	—	—

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5. 教員組織の状況

(掲載省略)

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届出時 (令和元年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項 完成年度前に定年年齢(66歳)を超える教授4人については、余人をもって代えがたい存在であることから、理事会において学部完成年度末までの雇用継続が理事会において承認されている。完成年度までの教育研究活動の継続に問題はないが、教員組織編成の将来構想について検討、右記実施計画を策定した。	履行中 完成年度末時点で59歳以下の教授3人、准教授6人、講師1人、助教1人を中心に、将来的にも教育・研究の継続性は維持されると判断しているが、より確実とするため、①若手人材を意図的に採用するべく中期的な人員計画を策定する。②募集は公募形式を中心とし、特に高年齢に偏らないよう年齢構成に留意して募集する。③教員採用において年齢構成のバランスについてこれまで以上に厳格な確認、協議を行う。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<建築学部 建築学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

【武庫川女子大学FD推進委員会】

平成20年1月に学長直属の全学組織として設置。構成員は、全学部学科等から選出された委員（各1人）と教務部長及び学長が委嘱した委員（令和3年度は21人）。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

【武庫川女子大学FD推進委員会】

令和2年度の委員会の開催は4回（7・10・12・3月）、出席率は68.8%。（4回の平均）。

c 委員会の審議事項等

【武庫川女子大学FD推進委員会】

- (1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項
- (5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項
- (6) 教員の教授活動の支援に関する事項
- (7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

【武庫川女子大学FD推進委員会】

- ア. 遠隔授業導入に伴う教育・学修活動の現状把握、取り組み事例の紹介
- イ. 遠隔授業導入に伴う後期授業アンケート実施項目の検討
- ウ. オンラインによるFD企画の実施（ライブ型研修、オンライン動画公開）
- エ. FDニュースの編集・発行

令和3年度も引き続き、研修会等の実施はオンラインを含めた形で継続していく。

なお、昨年度、コロナ禍において複数回実施した学生・教員対象のアンケート結果を元に、withコロナ・afterコロナにおける学生の学びや授業改善をキーワードに、大学教育のあり方について検討を進めていく予定である。

【建築学部・研究科におけるFD活動】

建築学部・建築学研究科における独自のFD活動としては、全ての科目の毎日の授業について授業報告書の提出を義務付け、各教員が他の教員の授業内容を確認、点検できるようにする。

【上記の他、大学として行っているFD/SD活動の内容】

- オ. 新任教員研修
- カ. 授業改善奨励制度
- キ. 遠隔授業推進特別チームの編成

b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

ア. 遠隔授業導入に伴う教育・学修活動の現状把握、取り組み事例の紹介

- ・「Café FD」等のFD企画の中での意見交換
- ・「FDニュース」での事例紹介
- ・教員・学生対象のアンケート結果の分析

イ. 遠隔授業導入に伴う後期授業アンケート実施項目の検討

- ・学長からの諮問を受けて、従来の授業アンケートの設問を、遠隔・対面・併用全ての科目の共通設問として、結果を比較できる設問への変更案を検討。

ウ. オンラインによるFD企画の実施（ライブ型研修、オンライン動画公開）

- ・全教職員対象FD企画「Café FD」を令和2年8月4日、令和3年3月1日に開催。

エ. FDニュースの編集・発行

- ・「FDニュース第19号」を令和2年12月に発行。ホームページでも公開。

オ. 新任教員研修

例年と同様の15回の集合研修が実施出来ないため、必須事項に特化した内容で計3回、オンラインでの研修を実施した。Googleclassroomを活用してオンデマンド型の資料提示と講義動画を配信し、それに対して参加者から提出されたレポートをオンライン（ライブ）で共有して理解を深めた。

3回の研修後にも、新任教員と学長、副学長、事務局長の他、先輩教員のフリーディスカッションをオンラインで実施したり、回数を減らしたことで見送りとなった内容については後期にオンデマンド教材を作成して、配信した。この経験を踏まえ、令和3年度は対面中心から全オンラインまでの3つの実施方式による15回のプログラムを計画し、緊急事態に備えている。

カ. 授業改善奨励制度

日々の教育活動の中で授業改善につながるより良い授業方法の工夫と実践に取り組む教員への奨励制度。

キ. 遠隔授業推進特別チームの編成

コロナ禍において遠隔授業を進めるにあたり、全学生、全教員に円滑かつ実質的な学習活動を行うための方策を徹底するため、特別チームを編成した。GoogleClassroomを活用した遠隔授業の方針を決め、通信システムをハード面の整備、マニュアルやガイドラインの作成、教員研修等に取り組んだ。また、教員・学生に対して複数回はじめとするアンケートを実施し、FD推進委員会と連携してコロナ禍における本学の教育の実態を把握し、改善策を検討した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・平成26年4月から、事務局組織に「教育開発支援室」を設置し、大学教育改革推進委員会やFD推進委員会の庶務を担う専任職員を配置して全学の教育活動の支援体制を整えている。同室では、学外で開催されるFD関係の研修会や高等教育に関連する研究会などについて、学内システムを利用して教員に案内し、教員の質向上につながる取り組みを行っている。
- ・コロナ禍において、令和2年度は前期の授業が全て遠隔授業に、後期も遠隔授業を併用した授業運営になったため例年実施している授業公開は行わなかった。その代わりに教員・学生対象にアンケートにより実態を把握し、その情報を共有したり、オンラインを通じての教員間の意見交換の機会を設定することで、授業の質の担保・改善を図った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

例年、以下のa、bの通り実施。

但し、令和2年度の前期については、通常の授業アンケートは実施せず、遠隔授業に関するアンケートを2回実施した。

a 実施の有無及び実施時期

- (1) 実施時期 前期（7月）、後期（12月中旬～1月初）
- (2) 調査方法 学内の「授業アンケートシステム」に学生が直接入力

b 教員や学生への公開状況、方法等

前期及び後期とも、授業担当者は授業期間内に、アンケート結果に対して学生に改善点等を含んだフィードバックを行うとともに、その結果はパソコン上でも閲覧可能としている。

大学院も平成29年度より、原則、全ての研究科において講義科目を対象に実施。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

建築学部建築学科は、既存の生活環境学部建築学科の建築教育を継承し「グローバル社会に貢献できる国際的通用性を備えた建築設計技術者を養成する。そして真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を、UNESCO-UIA建築教育憲章に対応した世界水準の学びを通して培うことを目的とする。」という趣旨・目的の下で設置された。

まだ卒業生が出ていない状況の中、設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価を行う段階にはないが、令和3年度の入学定員超過率は入学定員45人に対して入学者50人（入学定員超過率1.11倍）と、開設初年度に続いて定員を充足し、安定して学生確保を実現している。これは本学が築き上げてきた実績と本学部学科の特色が評価されたものと判断できる。コロナ禍が続く中、遠隔授業と感染予防に留意したスタジオ型教育を組み合わせながら教育効果を高めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

自己点検・評価報告書については認証評価のサイクルにあわせて7年ごとに作成している。

令和3年度報告書は令和5年3月公表予定。

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○武庫川女子大学FD推進委員会規程

平成20年1月1日

規程第1号

改正 平成23年4月1日

平成24年4月1日

平成26年4月1日

平成27年4月1日

平成29年4月1日

平成31年4月1日

令和2年4月1日

(目的)

第1条 武庫川女子大学の教育理念及び学部等の教育目標の実現を目指し、社会に役立つ有為な人材を育成するために、教員の資質向上や、主体的・恒常的に行う授業の内容及び方法の改善に資することを主たる目的とし、大学全体で組織的に教育水準の質的向上を推進するため、学長の下に、武庫川女子大学FD推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(構成)

第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 文学部各学科から推薦された委員 各1名 計3名
- (2) 教育学部から推薦された委員 1名
- (3) 健康・スポーツ科学部から推薦された委員 1名
- (4) 生活環境学部各学科から推薦された委員 各1名 計2名
- (5) 食物栄養科学部から推薦された委員 1名
- (6) 建築学部から推薦された委員 1名
- (7) 音楽学部から推薦された委員 1名
- (8) 薬学部から推薦された委員 1名
- (9) 看護学部から推薦された委員 1名
- (10) 経営学部から推薦された委員 1名
- (11) 共通教育部から推薦された委員 1名
- (12) 教務部長
- (13) 学長が委嘱する委員 若干名

- 2 委員長及び副委員長をおく。委員長及び副委員長は、学長が指名する。
 - 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。欠員を生じた場合は、これを補充しなければならない。補充によって委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。
- (審議事項)

第3条 委員会は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項
- (5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項
- (6) 教員の教授活動の支援に関する事項
- (7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項

(会議)

第4条 委員会は、原則として毎月1回会議を開く。

- 2 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を行う。
- 4 委員長は、必要と認めた場合、委員以外の者を出席させることができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、教育開発推進室教育開発・IR推進課が担当する。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、FD推進委員会の意見を聴いて、学長が決定する。

(その他)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関する必要な事項は、委員会の議を経て委員長が定める。

附 則

- 1 この規程は、平成20年1月1日から施行する。
- 2 第2条第3項の規定にかかわらず、委員会設置当初の任期は平成20年1月1日から平成21年3月31日までとする。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

大学番号 私立252

注3

設置年度 令和 2年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

武庫川女子大学 建築学部
注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人武庫川学院
令和3年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	法人室法人課
職名・氏名	
電話番号	0798-45-3512
（夜間）	0798-45-3512
e-mail	hozin@mukogawa-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

建築学部

＜景観建築学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	24
6. 附帯事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人武庫川学院

(2) 大学名

武庫川女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒663-8121

兵庫県西宮市池開町戸崎町1-13

(〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオカワラ リョウ) 大河原 量 (平成13年9月)		
学長	(セグチ カズヨシ) 瀬口 和義 (平成30年4月)		
学部長	(オカザキ シゲユキ) 岡崎 甚幸 (令和2年4月)		
学科長	(スギウラ ノリトシ) 杉浦 徳利 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
建築学部 景観建築学科 学士（景観建築学）	工学関係	4年	40人	年次 一人	160人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	40人 (-) [-]	一人 (-) [-]	40人 (-) [-]	一人 (-) [-]	0.92倍	一倍	
志願者数	273 (-) [-]	— (-) [-]	279 (-) [-]	— (-) [-]			
受験者数	219 (-) [-]	— (-) [-]	230 (-) [-]	— (-) [-]			
合格者数	116 (-) [-]	— (-) [-]	101 (-) [-]	— (-) [-]			
B 入学者数	42 (-) [-]	— (-) [-]	32 (-) [-]	— (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.05		0.8				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	42 [] ()	— [] ()	32 [] ()	— [] ()	
2年次	/		42 [] ()	— [] ()	
3年次	/		/		
4年次	/		/		
計	42 [—] (—)		74 [—] (—)		

・令和3年5月1日 公表

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	42人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	74人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		0人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{42} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{74} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<建築学部 景観建築学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2							1	
	平安朝文学の世界	1前		2							1	
	芭蕉をめぐる人々	1前		2							1	
	雨月物語に込められた情念	1前		2							1	
	芭蕉と旅	1後		2							1	
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後		2							1	
	日本史の中の女性たち	1前・後		2							1	
	日本の画像文化論	1前・後		2							1	
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2							1	
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2							1	
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1							1	
	音楽の科学	1前・後		2							1	
	先端芸術表現	1前・後		1							1	
	自己発見アート	1前・後		1							1	
	未来造形	1前・後		1							1	
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1							1	
	ミュージカルの実践	1前・後		1							1	
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2							1	
	日本の文化 I	1前		2							1	
	日本の文化 II	1後		2							1	
	遊びの人類学	1後		2							1	
	SNSから日本語を見る	1前・後		2							1	
	心理学入門	1後		2							1	
	人間関係の心理学	1前・後		2							1	
	心理学実践演習	1前		2							1	
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2							1	
	カウンセリングの実際	1前・後		2							1	
	カウンセリングスキル	1前・後		2							1	
	実践カウンセリング	1前・後		2							1	
	生涯福祉論	1前・後		2							1	
	社会福祉とボランティア	1前・後		2							1	
	福祉レクリエーションの実際	1後		2							1	
	子育てと家族関係	1前		2							1	
	「ふつつ」を考える社会学	1前・後		2							1	
	子育てと母性の気づき	1前		2							1	
	現代社会と憲法	1前・後		2							1	
外国から見た日本社会のしくみ	1後		2							1		
都市形成のあゆみと都市生活	1後		2							1		
消費者生活論	1前		2							1		
日本経済のしくみ	1前		2							1		
英語で学ぶやさしい経済学	1前		2							1		
英語で学ぶお金の知識	1後		2							1		
我々のくらしと日本の産業	1前・後		2							1		
環境心理学入門	1前・後		2							1		
教養としての法律	1前		2							1		
暮らしと法律	1前・後		2							1		
生命科学入門	1前・後		2							1		
環境問題の歴史	1前		2							1		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2							1	
	平安朝文学の世界	1前		2							1	
	芭蕉をめぐる人々	1前		2							1	
	雨月物語に込められた情念	1前		2							1	
	芭蕉と旅	1後		2							1	
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後		2							1	
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2							1	
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2							1	
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1							1	
	音楽の科学	1前・後		2							1	
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後		2							1	
	先端芸術表現	1前・後		1							1	
	自己発見アート	1前・後		1							1	
	未来造形	1前・後		1							1	
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1							1	
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2							1	
	日本の文化 I	1前		2							1	
	日本の文化 II	1後		2							1	
	遊びの人類学	1後		2							1	
	SNSから日本語を見る	1前・後		2							1	
	心理学入門	1後		2							1	
	人間関係の心理学	1前・後		2							1	
	心理学実践演習	1前		2							1	
	鎌倉時代の文学への誘い	1前・後		2							1	
	日本近代文学の魅力 I	1前		2							1	
	日本近代文学の魅力 II	1後		2							1	
	平安時代の文学への誘い	1前・後		2							1	
	合唱表現 I	1前		1							1	
	合唱表現 II	1後		1							1	
	書の世界	1前・後		2							1	
	生と死の心理学	1後		2							1	
	建築文化論	1後		2			1				1	
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2							1	
	カウンセリングの実際	1前・後		2							1	
	カウンセリングスキル	1前・後		2							1	
	実践カウンセリング	1前・後		2							1	
生涯福祉論	1前・後		2							1		
社会福祉とボランティア	1前・後		2							1		
福祉レクリエーションの実際	1後		2							1		
子育てと家族関係	1前		2							1		
「ふつつ」を考える社会学	1前・後		2							1		
子育てと母性の気づき	1前		2							1		
現代社会と憲法	1前・後		2							1		
外国から見た日本社会のしくみ	1後		2							1		
消費者生活論	1前		2							1		
日本経済のしくみ	1前		2							1		
英語で学ぶやさしい経済学	1前		2							1		
英語で学ぶお金の知識	1後		2							1		
我々のくらしと日本の産業	1前・後		2							1		
甲子園と阪神電鉄	1前		2							1		
建築と人間行動	1前		2							1		
まちづくりと地方自治の役割	1前・後		2							1		
環境心理学入門	1前・後		2							1		
教養としての法律	1前・後		2							1		
暮らしと法律	1前・後		2							1		
生命科学入門	1前・後		2							1		
環境問題の歴史	1前		2							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	科学技術の歩み	1後		2							1
	生命科学の基礎	1前		2							1
	生活の中の物理学	1後		2							1
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2							1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後		2							1
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前		2							1
	色彩情報	1前・後		2							1
	科学から考える衣服と生活	1後		2							1
	文化を創造する数学	1前		2							1
	科学への入門	1前・後		2							1
	韓国文化の理解	1前・後		2							1
	中国文化論	1前・後		2							1
	World English I	1前		2							1
	World English II	1後		2							1
	世界の中の日本人	1前		2							1
	国際協力入門	1前		2							1
	大学生活入門	1前・後		2							1
	Japanese Culture Influence I	1前		2							1
	Japanese Culture Influence II	1後		2							1
	モラルジレンマから考える私	1前		2							1
	女性のためのマーケティング	1前・後		2							1
	アジアのなかのジェンダー	1前・後		2							1
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2							1
	女性と教育	1前・後		2							1
	メディアに見るジェンダー	1前・後		2							1
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2							1
	女性と家族のゆくえ	1前・後		2							1
	文章表現の基礎	1前・後		2							1
	プレゼンテーションの基礎	1前・後		2							1
	日本語表現の基礎	1前・後		2							1
	自己アビリティトレーニング	1前・後		2							1
	就活リテラシー	1前・後		2							1
	女性のためのライフプランニング	1前・後		2							1
	英語コミュニケーション I	1前・後		2							1
	英語コミュニケーション II	1前・後		2							1
	英語コミュニケーション III	1前・後		1							2
	英語コミュニケーション IV	1前・後		1							2
	英語リーディング I	1前・後		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	科学技術の歩み	1後		2							1
	生命科学の基礎	1前		2							1
	生活の中の物理学	1後		2							1
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2							1
	現代世界の教育	1前・後		2							1
	情報化と教育	1前・後		2							1
	メディアに映る女性	1前・後		2							1
	生きがい探しのボランティア論	1前・後		2							1
	女性と子どものヘルスケア	1後		2							2
	経営学入門	1前・後		2							1
	メディア技術と文字デザイン	1前		2							1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後		2							1
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前		2							1
	文化を創造する数学	1前		2							1
	科学への入門	1前・後		2							1
	数や図形の科学	1前・後		2							1
	身近な動植物の起源と歴史	1前・後		2							1
	生命の恒常性と情報伝達	1前・後		2							1
	健康を支える仕組み	1前・後		2							2
	生活習慣と心と身体の科学	1前・後		2							1
	薬の歴史と未来	1後		2							2
	薬とからだ	1後		2							2
	健康生活とライフステージ	1前		2							3
	医薬品概論	1前		2							2
	韓流ブーム	1前・後		2							1
	韓国文化の理解	1前・後		2							1
	中国文化論	1前・後		2							1
	World English I	1前		2							1
	World English II	1後		2							1
	世界の中の日本人	1前		2							1
	国際協力入門	1前		2							1
	テレビ映像と現代社会	1前・後		2							1
	命を守る生体の機構と科学	1前・後		2							1
	モラルジレンマから考える私	1前		2							1
	女性のためのマーケティング	1前・後		2							1
	アジアのなかのジェンダー	1前・後		2							1
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2							1
	女性と教育	1前・後		2							1
	メディアに見るジェンダー	1前・後		2							1
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2							1
	ジェンダーと社会	1後		2							1
	女性が輝く社会づくり	1前・後		2							1
	セクシュアリティ入門	1前・後		2							1
	文章表現の基礎	1前・後		2							1
	プレゼンテーションの基礎	1前・後		2							1
	自己アビリティトレーニング	1前・後		2							1
	キャリアビジョンと人物評価	1前・後		2							1
	女性のためのライフプランニング	1前・後		2							1
	キャリアと学び	1前		2							1
	卒業生が語る仕事と人生	1後		2							1
	仕事を考える	1前・後		2							1
	公務員の魅力	1前		2							1
	ヒューマンスキル入門	1前		2							1
	パーソナルコミュニケーション	1後		2							1
	チームで学ぶ課題解決	1前・後		2							1
	企業での女性活動と働き方改革	1前・後		2							1
	企業で役に立つ情報収集と企画力	1前		2							1
	グローバル化と企業の海外展開	1後		2							1
	英語コミュニケーション I	1前・後		2							1
	英語コミュニケーション II	1前・後		2							1
	英語コミュニケーション III	1前・後		1							1
	英語コミュニケーション IV	1前・後		1							2
	英語リーディング I	1前・後		1							2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	英語リーディングⅡ	1前・後		1							1
	英語ライティングⅠ	1前・後		1							2
	英語ライティングⅡ	1前・後		1							1
	TOEIC演習Ⅰ	1前・後		1							1
	TOEIC演習Ⅱ	1前・後		1							1
	TOEIC演習Ⅲ	1前・後		1							1
	TOEFL演習	1後		1							1
	Speaking & ListeningⅠ	2前		1							1
	Speaking & ListeningⅡ	2後		1							1
	Speaking & ListeningⅢ	3後		1							1
	Basics for PresentationⅠ	2前		1							1
	Basics for PresentationⅡ	2後		1							1
	Grammar for Communication	2前		1							1
	Reading & Writing	2後		1							1
	PresentationⅠ	3前		1							1
	PresentationⅡ	3後		1							1
	English for Careers	3前		1							1
	Reading & Discussion	3後		1							1
	Current EventsⅠ	4前		1							1
	Current EventsⅡ	4後		1							1
	Reading & Critical Thinking	4前		1							1
	Global CommunicationⅠ	4前		1							1
	Global CommunicationⅡ	4後		1							1
	Career Workshop	4後		1							1
	Writing for Daily Use	3前		1							1
	ドイツ語Ⅰ	1前・後		2							3
	ドイツ語Ⅱ	1前・後		2							1
	フランス語Ⅰ	1前・後		2							2
	フランス語Ⅱ	1後		2							1
	中国語Ⅰ	1前・後		2							3
	中国語Ⅱ	1前・後		2							3
	イタリア語Ⅰ	1前・後		1							1
	イタリア語Ⅱ	1前・後		1							1
	スペイン語Ⅰ	1前		2							1
	ハンブルⅠ	1前・後		2							2
	ハンブルⅡ	1後		2							1
	手話	1前		1							2
	特別英語演習Ⅰ	1前・後		4							1
	特別英語演習Ⅱ	1前・後		4							1
	特別中国語演習Ⅰ	1前		2							1
	特別中国語演習Ⅱ	1前		2							1
	特別ハンブル演習Ⅰ	1前		4							1
	特別ハンブル演習Ⅱ	1前		4							1
	グラフィックデザイン基礎	1後		2							1
	フォトレタッチ基礎	1前		2							1
Webデザイン応用	1前・後		2							1	
Scratchによるプログラミング	1前・後		2							1	
情報社会を生きる技術	1前・後		2							1	
Accessデータベース基礎	1前・後		2							1	
データサイエンス入門	1前・後		2							1	
データサイエンス演習	1後		2							1	
スポーツと栄養	1前・後		2							1	
ダンス・ムーブメントセラピー	1後		2							1	
スポーツ実技(テニス)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(バレーボール)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(バドミントン)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後		1							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	英語リーディングⅡ	1前・後		1							1
	英語ライティングⅠ	1前・後		1							2
	英語ライティングⅡ	1前・後		1							1
	TOEIC演習Ⅰ	1前・後		1							1
	TOEIC演習Ⅱ	1前・後		1							1
	TOEIC演習Ⅲ	1前・後		1							1
	TOEFL演習	1後		1							1
	TOEIC(初級)	1後		1							1
	Speaking & ListeningⅠ	2前		1							1
	Speaking & ListeningⅡ	2後		1							1
	Speaking & ListeningⅢ	3後		1							1
	Basics for PresentationⅠ	2前		1							1
	Basics for PresentationⅡ	2後		1							1
	Grammar for Communication	2前		1							1
	Reading & Writing	2後		1							1
	Presentation	3後		1							1
	English for Careers	3前		1							1
	Reading & Discussion	3後		1							1
	Current EventsⅠ	4前		1							1
	Current EventsⅡ	4後		1							1
	Reading & Critical Thinking	4前		1							1
	Global CommunicationⅠ	4前		1							1
	Global CommunicationⅡ	4後		1							1
	Career Workshop	4後		1							1
	ドイツ語Ⅰ	1前・後		2							2
	ドイツ語Ⅱ	1前・後		2							1
	フランス語Ⅰ	1前・後		2							2
	フランス語Ⅱ	1後		2							1
	フランス語ⅠA	1前		1							1
	フランス語ⅠB	1後		1							1
	中国語Ⅰ	1前・後		2							3
	中国語Ⅱ	1前・後		2							3
	イタリア語ⅠA	1前・後		1							1
	イタリア語ⅠB	1前・後		1							1
	スペイン語Ⅰ	1前		2							1
	ハンブルⅠ	1前・後		2							2
	ハンブルⅡ	1後		2							1
	手話	1前		1							2
	特別英語演習Ⅰ	1前・後		4							1
	特別英語演習Ⅱ	1前・後		4							1
	特別中国語演習Ⅰ	1前		2							1
	特別中国語演習Ⅱ	1前		2							1
	特別ハンブル演習Ⅰ	1前		4							1
	特別ハンブル演習Ⅱ	1前		4							1
	WritingⅠ	3前		1							1
WritingⅡ	3後		1							1	
グラフィックデザイン基礎	1後		2							1	
フォトレタッチ基礎	1前		2							1	
Webデザイン基礎	1前・後		2							1	
Webデザイン応用	1前・後		2							1	
Scratchによるプログラミング	1前・後		2							1	
情報社会を生きる技術	1前・後		2							1	
Accessデータベース基礎	1前・後		2							1	
データサイエンスの基礎とExcel	1前・後		2							1	
データサイエンスの応用とExcel	1後		2							1	
スポーツと栄養	1前・後		2							1	
知っておきたい救急処置	1前		2							1	
女性の健康と運動	1前・後		2							1	
生涯スポーツ論	1後		2							1	
スポーツと現代社会	1前・後		2							1	
スポーツ実技(テニス)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(バレーボール)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(バドミントン)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後		1							1	
スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後		1							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	日本庭園史	1前	2								1
	世界庭園史	2前	2								1
	景観建築原論	2前	2			1					
	景観緑地計画論	3前	2								3
	景観設計施工技術	3後		2							1
	景観建築植物学	1前	2			1					
	景観建築植物実習Ⅰ	1前		1		1					3
	景観建築植物実習Ⅱ	1後		1		1					3
	建築都市緑化実習Ⅰ	2前		1		1					4
	建築都市緑化実習Ⅱ	2後		1		1					3
	建築都市緑化実習Ⅲ	3前		1		1					2
	建築都市緑化実習Ⅳ	3後		1		1					3
	景観建築特別実習Ⅰ	1前		1		1					1
	景観建築特別実習Ⅱ	2前		1		1					1
	景観建築フィールドワークⅠA	1前		1		4	1		1		
	景観建築フィールドワークⅠB	1後		1		4	1		1		
	景観建築フィールドワークⅡA	2前		1		7	1		1		
	景観建築フィールドワークⅡB	2後		1		7	1		1		
	景観建築フィールドワークⅢA	3前		1		7	1		1		
	景観建築フィールドワークⅢB	3後		1		7	1		1		
景観建築フィールドワークⅣ	4前		1		7	1		1			
小計(57科目)	-		92	31	0	7	1	0	1	0	55
合計(219科目)	-		108	295	0	7	1	0	1	0	162
卒業要件及び履修方法											
4年以上在学し、共通教育科目6単位以上(『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目」からそれぞれ2単位以上)、基礎教育科目の中から16単位、専門教育科目の中から106単位以上、合計128単位以上を修得すること。なお、基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	日本庭園史	1前	2								1
	世界庭園史	2前	2								1
	景観建築原論	2前	2					1			
	景観緑地計画論	3前	2								3
	景観設計施工技術	3後		2							1
	景観建築植物学	1前	2					1			
	景観建築植物実習Ⅰ	1前		1		1					3
	景観建築植物実習Ⅱ	1後		1		1					3
	建築都市緑化実習Ⅰ	2前		1		1					2
	建築都市緑化実習Ⅱ	2後		1		1					2
	建築都市緑化実習Ⅲ	3前		1		1					2
	建築都市緑化実習Ⅳ	3後		1		1					3
	景観建築特別実習Ⅰ	1前		1		1					1
	景観建築特別実習Ⅱ	2前		1		1					1
	景観建築フィールドワークⅠA	1前		1		4	1		1		
	景観建築フィールドワークⅠB	1後		1		4	1		1		
	景観建築フィールドワークⅡA	2前		1		7	1		1		
	景観建築フィールドワークⅡB	2後		1		7	1		1		
	景観建築フィールドワークⅢA	3前		1		7	1		1		
	景観建築フィールドワークⅢB	3後		1		7	1		1		
景観建築フィールドワークⅣ	4前		1		7	1		1			
小計(57科目)	-		92	31	0	7	1	0	1	0	55
合計(263科目)	-		108	386	0	7	1	0	1	0	201
卒業要件及び履修方法											
4年以上在学し、共通教育科目6単位以上(『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目」からそれぞれ2単位以上)、基礎教育科目の中から16単位、専門教育科目の中から106単位以上、合計128単位以上を修得すること。なお、基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後		2								1
	平安朝文学の世界	1前		2								1
	芭蕉をめぐる人々	1前		2								1
	雨月物語に込められた情念	1前		2								1
	芭蕉と旅	1後		2								1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後		2								1
	日常生活からの哲学入門	1前・後		2								1
	現代フランスの音楽事情	1前・後		2								1
	ミュージカル歌唱法	1前・後		1								1
	音楽の科学	1前・後		2								1
	先端芸術表現	1前・後		1								1
	自己発見アート	1前・後		1								1
	未来造形	1前・後		1								1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後		1								1
	ミュージカルの実践	1前・後		1								1
	歌舞伎鑑賞入門	1後		2								1
	日本の文化Ⅰ	1前		2								1
	日本の文化Ⅱ	1後		2								1
	遊びの人類学	1後		2								1
	SNSから日本語を見る	1前・後		2								1
	江戸時代と現代の道徳の比較	1前		2								1
	鎌倉時代の文学への関い	1前・後		2								1
	日本近代文学の魅力Ⅰ	1前		2								1
	日本近代文学の魅力Ⅱ	1後		2								1
	「昔話」と「昔語り」	1後		2								1
	平安時代の文学への関い	1前・後		2								1
	日本語と英語の比較	1前・後		2								1
	合唱表現Ⅰ	1前		1								1
	合唱表現Ⅱ	1後		1								1
	生活の中の美的感動表現	1前・後		1								1
	感性の書	1前・後		2								1
	書の世界	1前・後		2								1
	口承文芸入門	1前		2								1
	生と死の心理学	1後		2								1
	差別と暴力のない世界をめざして	1後		2								1
	カウンセリングの実際	1前・後		2								1
	カウンセリングスキル	1前・後		2								1
	実践カウンセリング	1前・後		2								1
	生涯福祉論	1前・後		2								1
	社会福祉とボランティア	1前・後		2								1
	福祉レクリエーションの実際	1後		2								1
	子育てと家族関係	1前		2								1
	「ふつう」を考える社会学	1前・後		2								1
	子育てと母性の気づき	1前		2								1
	現代社会と憲法	1前・後		2								1
	外国から見た日本社会のしくみ	1後		2								1
	都市形成のあゆみと都市生活	1後		2								1
	消費者生活論	1前		2								1
	日本経済のしくみ	1前		2								1
	英語で学ぶお金の知識	1後		2								1
我々のくらしと日本の産業	1前・後		2								1	
環境心理学入門	1前・後		2								1	
教養としての法律	1前		2								1	
暮らしと法律	1後		2								1	
生命科学入門	1前・後		2								1	
環境問題の歴史	1前		2								1	
科学技術の歩み	1後		2								1	
生命科学の基礎	1前		2								1	
生活の中の物理学	1後		2								1	
最先端物理学が描く宇宙	1後		2								1	
世界の大学事情	1前		2								1	
現代世界の教育	1前・後		2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	情報化と教育	1前・後		2								1
	メディアに映る女性	1前・後		2								1
	災害と子ども・家族	1前		2								1
	生きがい探しのボランティア論	1前・後		2								1
	聴覚障害者の理解と手話	1前・後		2								1
	女性と子どものヘルスケア	1後		2								2
	経営学入門	1前・後		2								1
	情報と社会	1前・後		2								1
	メディア技術と文字デザイン	1前		2								1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後		2								1
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前		2								1
	色彩情報	1前・後		2								1
	文化を創造する数学	1前		2								1
	科学への入門	1前・後		2								1
	数的能力の発達過程	1前・後		2								1
	数や図形の科学	1前・後		2								1
	生態学的視覚論	1前		2								1
	視覚認知	1後		2								1
	身近な動植物の起源と歴史	1前・後		2								1
	生命の恒常性と情報伝達	1前・後		2								1
	健康を支える仕組み	1前・後		2								2
	生活習慣と心と身体の科学	1前・後		2								1
	韓国文化の理解	1前・後		2								1
	中国文化論	1前・後		2								1
	World English I	1前		2								1
	World English II	1後		2								1
	世界の中の日本人	1前		2								1
	漢字がつなぐ東アジア	1前・後		2								1
	大学生生活入門	1前・後		2								1
	Japanese Culture Influence I	1前		2								1
	テレビ映像と現代社会	1前・後		2								1
	命を守る生体の機構と科学	1前・後		2								1
	女性のためのマーケティング	1前・後		2								1
	アジアのなかのジェンダー	1前・後		2								1
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2								1
	女性と教育	1前・後		2								1
	メディアに見るジェンダー	1前・後		2								1
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2								1
	女性と家族のゆくえ	1前・後		2								1
	セクシュアリティ入門	1前・後		2								1
	文章表現の基礎	1前・後		2								1
	プレゼンテーションの基礎	1前・後		2								1
	日本語表現の基礎	1前・後		2								1
	自己アピールトレーニング	1前・後		2								1
	キャリアビジョンと人物評価	1前・後		2								1
	女性のためのライフプランニング	1前・後		2								1
	キャリアデザインとライフプラン	1前・後		2								1
	ヒューマンスキル入門	1前		2								1
	パーソナルコミュニケーション	1後		2								1
	チームで学ぶ課題解決	1前・後		2								1
企業での女性活動と働き方改革	1前・後		2								1	
企業で役に立つ情報収集と企画力	1前		2								1	
グローバル化と企業の海外展開	1後		2								1	
英語コミュニケーション I	1前・後		2								1	
英語コミュニケーション II	1前・後		2								1	
英語コミュニケーション III	1前・後		1								1	
英語コミュニケーション IV	1前・後		1								1	
英語リーディング I	1前・後		1								2	
英語リーディング II	1前・後		1								1	
英語ライティング I	1前・後		1								2	
英語ライティング II	1前・後		1								1	
TOEIC演習 I	1前・後		1								1	
TOEIC演習 II	1前・後		1								1	
TOEIC演習 III	1前・後		1								1	
TOEFL演習	1後		1								1	
TOEIC(初級)	1後		1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	Speaking & Listening I	2前		1							1
	Speaking & Listening II	2後		1							1
	Speaking & Listening III	3後		1							1
	Basics for Presentation I	2前		1							1
	Basics for Presentation II	2後		1							1
	Grammar for Communication	2前		1							1
	Reading & Writing	2後		1							1
	Presentation	3後		1							1
	English for Careers	3前		1							1
	Reading & Discussion	3後		1							1
	Current Events I	4前		1							1
	Current Events II	4後		1							1
	Reading & Critical Thinking	4前		1							1
	Global Communication I	4前		1							1
	Global Communication II	4後		1							1
	Career Workshop	4後		1							1
	ドイツ語 I	1前・後		2							3
	ドイツ語 II	1前・後		2							1
	フランス語 I	1前・後		2							2
	フランス語 II	1後		2							1
	フランス語 I A	1前		1							1
	フランス語 I B	1後		1							1
	中国語 I	1前・後		2							3
	中国語 II	1前・後		2							3
	イタリア語 I A	1前・後		1							1
	イタリア語 I B	1前・後		1							1
	スペイン語 I	1前		2							1
	ハンブルク I	1前・後		2							2
	ハンブルク II	1後		2							1
	手話	1前		1							2
	特別英語演習 I	1前・後		4							1
	特別英語演習 II	1前・後		4							1
	特別中国語演習 I	1前		2							1
	特別中国語演習 II	1前		2							1
	特別ハンブルク演習 I	1前		4							1
	特別ハンブルク演習 II	1前		4							1
	Writing I	3前		1							1
	Writing II	3後		1							1
	グラフィックデザイン基礎	1後		2							1
	フォトタッチ基礎	1前		2							1
	Webデザイン基礎	1前・後		2							1
	Webデザイン応用	1前・後		2							1
	情報社会を生きる技術	1前・後		2							1
	Accessデータベース基礎	1前・後		2							1
	データサイエンス入門	1前・後		2							1
	データサイエンス演習	1後		2							1
	スポーツと栄養	1前・後		2							1
	ダンス・ムーブメントセラピー	1後		2							1
	障害者とスポーツ	1前・後		2							1
	知っておきたい救急処置	1前		2							1
	女性の健康と運動	1前・後		2							1
	スポーツ実技(テニス)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(バレーボール)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(バドミントン)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ダンスエアロ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(遊びと障害)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ヨガ)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(ビーチバレー)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(水泳)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(サッカー)	1前・後		1							1
	スポーツ実技(エアリアルワーク)	1前・後		1							1

共通教育科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	からだと気づきと姿勢法	1後		1							1
	学び発見ゼミ	1前・後		2		3					39
	小計(196科目)	-	0	341	0	3	0	0	0	0	142
基礎教育科目	初期演習 I	1前	1				1				
	初期演習 II (景観建築入門)	1後	1				1				
	景観建築英語 I	1前	2								2
	景観建築英語 II	1後	2								2
	景観建築英語 III	2前	2								2
	景観建築英語 IV	2後	2								2
	景観建築数学	1前	2								1
	景観建築物理	1後	2								2
	生態学	1後	2								1
	小計(9科目)	-	16	0	0	0	1	0	0	0	7
専門教育科目	表現基礎演習	1前	4			4	1		1		13
	設計基礎演習	1後	4			4	1		1		1
	景観建築設計演習 I	2前	4			5					
	景観建築設計演習 II	2後	4			5	1				
	景観建築設計演習 III	3前	6			6					
	景観建築設計演習 IV	3後	6			5			1		2
	景観建築設計演習 V	4前	6			4			1		2
	景観映像情報基礎	1前	2			1	1		1		
	測量学実習	1後	2								2
	景観映像情報演習 I	2前	2			1					
	景観映像情報演習 II	2後	2			1			1		
	卒業研究	4後	6			7	1		1		
	日本建築史	1前	2								1
	世界建築史	2前	2			1					1
	近代建築史	2後	2			1					
	建築計画	2前	2			1			1		
	建築環境工学 I	2後	2								2
	建築環境工学 II	3後	2		2						2
	建築設備	4前	2								2
	構造力学 I	2前	2								1
	構造力学 II	2後	2								1
	建築一般構造 I	1後	2			1					1
	建築一般構造 II	3前	2				1				1
	建設材料	3前	2								1
	建築生産	3前	2								1
	建築施工	3後	2		2						1
	建築法規 I	2後	2								1
	建築法規 II	3後	2		2						1
	測量学	1後	2								2
	都市計画	3前	2			1					
	環境職業倫理	4前	2								3
	土質力学	3前	2		2						1
	水理学	3後	2		2						1
	自然環境保全学	2後	2								3
	文化遺産保全学	3後	2		2						2
	流域保全学	3後	2		2						1
	日本庭園史	1前	2								1
	世界庭園史	2前	2								1
	景観建築原論	2前	2			1					
	景観緑地計画論	3前	2								3
	景観設計施工技術	3後	2		2						1
	景観建築植物学	1前	2			1					
景観建築植物実習 I	1前	1		1	1					3	
景観建築植物実習 II	1後	1		1	1					3	
建築都市緑化実習 I	2前	1		1	1					4	
建築都市緑化実習 II	2後	1		1	1					3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	建築都市緑化実習Ⅲ	3前		1		1						2
	建築都市緑化実習Ⅳ	3後		1		1						3
	景観建築特別実習Ⅰ	1前		1		1						1
	景観建築特別実習Ⅱ	2前		1		1						1
	景観建築フィールドワークⅠA	1前		1		4	1		1			
	景観建築フィールドワークⅠB	1後		1		4	1		1			
	景観建築フィールドワークⅡA	2前		1		7	1		1			
	景観建築フィールドワークⅡB	2後		1		7	1		1			
	景観建築フィールドワークⅢA	3前		1		7	1		1			
	景観建築フィールドワークⅢB	3後		1		7	1		1			
	景観建築フィールドワークⅣ	4前		1		7	1		1			
小計(57科目)	-		92	31	0	7	1	0	1	0	55	
合計(262科目)	-		108	372	0	7	1	0	1	0	201	
卒業要件及び履修方法												
4年以上在学し、共通教育科目6単位以上(『基礎教養科目群』の中の「人文科学科目」及び「社会科学科目」からそれぞれ2単位以上)、基礎教育科目の中から16単位、専門教育科目の中から106単位以上、合計128単位以上を修得すること。なお、基礎教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:50単位未満(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・共通教育科目構成の見直しにより「日本史の中の女性たち」を廃止。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「日本の画像文化論」を廃止。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「心理学入門」を廃止。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「人間関係の心理学」を廃止。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「心理学実践演習」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「江戸時代と現代の道徳の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「鎌倉時代の文学への誘い」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本近代文学の魅力Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本近代文学の魅力Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に『「昔話」と「昔語り」』を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「平安時代の文学への誘い」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本語と英語の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「合唱表現Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「合唱表現Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生活の中の美的感動表現」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「感性の書」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「書の世界」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「口承文芸入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生と死の心理学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「英語で学ぶやさしい経済学」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「世界の大学事情」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「現代世界の教育」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「情報化と教育」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「メディアに映る女性」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「災害と子ども・家族」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生きがい探しのボランティア論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「聴覚障害者の理解と手話」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「女性と子どものヘルスケア」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「経営学入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「情報と社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「メディア技術と文字デザイン」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「科学から考える衣服と生活」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「数的能力の発達過程」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「数や図形の科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生態学的視覚論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「視覚認知」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「身近な動植物の起源と歴史」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生命の恒常性と情報伝達」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「健康を支える仕組み」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生活習慣と脳と心と身体の科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「科学から考える衣服と生活」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「漢字がつなぐ東アジア」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「テレビ映像と現代社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「命を守る生体の機構と科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「Japanese Culture Influence Ⅱ」を廃止。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「モラルジレンマから考える私」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「セクシュアリティ入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目「就活リテラシー」の科目名を見直し、「キャリアビジョンと人物評価」に名称変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「キャリアデザインとライフプラン」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ヒューマンスキル入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「パーソナルコミュニケーション」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「チームで学ぶ課題解決」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「企業での女性活動と働き方改革」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「企業で役に立つ情報収集と企画力」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「グローバル化と企業の海外展開」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語コミュニケーションⅢ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語コミュニケーションⅣ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語リーディングⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「TOEIC（初級）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「PresentationⅠ」「PresentationⅡ」のうち、「PresentationⅡ」を廃止し、「PresentationⅠ」の科目名称を「Presentation」に、配当年次を「3後」にそれぞれ変更。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「Writing for Daily Use」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランス語ⅠA」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランス語ⅡA」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目「イタリア語Ⅰ」「イタリア語Ⅱ」の科目名を見直し、「イタリア語ⅠA」「イタリア語ⅠB」にそれぞれ名称変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「WritingⅠ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「WritingⅡ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Webデザイン基礎」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「Scratchによるプログラミング」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「障害者とスポーツ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「知っておきたい救急処置」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「女性の健康と運動」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（水泳）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（サッカー）」を追加し、「兼任教員1」を配置。

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技(エアリアルワーク)」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「からだと気づきと姿勢法」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「マッサージ実習」を廃止。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目「学び発見ゼミ」の兼任・兼担教員の配置を「27」から「39(兼担31・兼任8)」に変更。
- ・科目内容の充実を図るため、専門教育科目「景観映像情報基礎」の担当教員に「教授1」「准教授1」を追加。

【令和3年度】

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランスの音楽と芸術文化」を追加し、「兼担教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築文化論」を追加し、「兼担教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「都市形成のあゆみと都市生活」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「甲子園と阪神電鉄」を追加し、「兼担教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築と人間行動」を追加し、「専任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「まちづくりと地方自治の役割」を追加し、「兼担教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「色彩情報」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「薬の歴史と未来」を追加し、「兼担教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「薬とからだ」を追加し、「兼担教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「健康生活とライフステージ」を追加し、「兼担教員3」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「医薬品概論」を追加し、「兼任・兼担教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「韓流ブーム」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「大学生活入門」を廃止。
- ・共通教育科目構成見直しのため「Japanese Culture Influence I」を廃止。
- ・共通教育科目構成見直しのため「女性と家族のゆくえ」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ジェンダーと社会」を追加し、「兼担教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「女性が輝く社会づくり」を追加し、「兼担教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「日本語表現の基礎」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「キャリアと学び」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「卒業生が語る仕事と人生」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「仕事力を考える」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「公務員の魅力」を追加し、「兼担教員1」を配置。
- ・開講クラス数変更のため、「ドイツ語I」の教員配置を「兼任教員3」から「兼任教員2」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため「データサイエンス入門」の科目名を「データサイエンスの基礎とExcel」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため「データサイエンス演習」の科目名を「データサイエンスの応用とExcel」に変更。
- ・共通教育科目構成見直しのため「ダンス・ムーブメントセラピー」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生涯スポーツ論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツと現代社会」を追加し、「兼担教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成見直しのため「スポーツ実技(ビーチバレー)」を廃止。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技(ハンジーエクササイズ)」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技(スタイルジャズ)」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目「学び発見ゼミ」の兼任・兼担教員の配置を「29」から「39(兼担32・兼任7)」に変更。
- ・共通教育科目「教養としての法律」(1前)、「暮らしと法律」(1後)の配当年次を「1前・後」に変更。
- ・共通教育科目構成見直しのため「ミュージカルの実践」を廃止。
- ・指導体制強化のため、「景観映像情報基礎」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」「准教授1」「助教1」に変更。
- ・指導体制強化のため、「建築計画」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
43 科目	176 科目	0 科目	219 科目	43 科目 []	221 科目 [45]	0 科目 [0]	264 科目 [45]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	日本史の中の女性たち	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。併設短大において開講し、履修可能。
2	日本の画像文化論	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。併設短大において開講し、履修可能。
3	ミュージカルの実践	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
4	都市形成のあゆみと都市生活	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
5	色彩情報	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
6	大学生活入門	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。併設短大において開講し、履修可能。
7	Japanese Culture Influence I	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
8	Japanese Culture Influence II	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
9	女性と家族のゆくえ	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
10	日本語表現の基礎	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
11	Presentation II	1	3後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
12	Writing for Daily Use	1	3前	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
13	ダンス・ムーブメントセラピー	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
14	スポーツ実技(ビーチバレー)	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。併設短大において開講し、履修可能。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【所見】廃止科目はすべて「共通教育科目」の科目である。共通教育科目は全学部の学生が自由に選択でき、現代社会で通用する教養を養うことを目的に毎年度開講科目の見直しを行っており、廃止はその結果である。一方、同分野の内容を含む科目を多数新たに開講しており、教育に支障はないと判断している。また、併設短期大学において同内容の科目を開講し、受講を可能とする。

【学生への周知方法】
学生向けに共通教育専用サイトを開設し、共通教育の目的、科目構成等について周知を図っている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{14}{219} = \boxed{6.39} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考						
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期 大学部（必要面積 14,000㎡）と共用 駐輪場取得、西北新 校舎敷地取得（3） 坂一部艇庫竣工に伴う 用途変更（2） 校舎敷地と別地 （徒歩10分） 借用面積：1,129.19㎡ 借用期間：27年8月 （令和30年11月まで） 甲子園口寮取得 （2）						
	校 舎 敷 地	68,039.60 ㎡	77,280.48 73,384.59 72,518.66 ㎡	0 ㎡	145,320.08 141,424.49 140,558.26 ㎡							
	運 動 場 用 地	0 ㎡	92,502.75 ㎡	0 ㎡	92,502.75 ㎡							
	小 計	68,039.60 ㎡	169,783.23 165,887.34 165,021.41 ㎡	0 ㎡	237,822.83 233,926.94 233,061.01 ㎡							
	そ の 他	0 ㎡	9,627.66 8,404.89 ㎡	0 ㎡	9,627.66 8,404.89 ㎡							
	合 計	68,039.60 ㎡	179,410.89 175,515.00 173,426.30 ㎡	0 ㎡	247,450.49 243,554.60 241,465.90 ㎡							
(2) 校 舎	専 用	72,132.21 71,726.26 72,010.29 ㎡	120,147.32 114,909.81 115,605.29 ㎡	0 ㎡	192,279.53 186,636.07 187,615.58 ㎡	武庫川女子大学短期 大学部（必要面積 10,450㎡）と共用 景観建築スタジオ東 館新築、向面積差異 修正、甲子園会館内 研究所用途変更、西 北新校舎取得、マルメ デ'17館内研究所用途 変更（3） ステーションキャンパス・公江 記念館竣工に伴う面 積差異修正（2）						
	共 用	(69,363.31) (67,972.36) (68,256.39 ㎡)	(116,078.32) (110,840.81) (111,536.29 ㎡)	(0 ㎡)	(185,441.63) (178,813.17) (179,792.68 ㎡)							
	共用する他の 学校等の専用											
	計											
(3) 教 室 等	講 義 室	153 室	演 習 室	208 室	実験実習室	442 室	情報処理学習施設	12 室	語学学習施設	4 室	大学全体 (補助職員 1人) (補助職員 3人)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数								
	建築学部 景観建築学科			9			室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点					
	建築学部	688,270 [165,053] (688,270 [165,053])	9,489 [1,925] (9,489 [1,925])	60,886 [55,801] (60,886 [55,801])	14140 (14,140)	2,852 (2,817)	0 (0)	図書・学術雑誌・電 子ジャーナル・視 覚資料については、 学部単位での特定不 能なため、大学全体 の数				
	計	688,270 [165,053] (688,270 [165,053])	9,489 [1,925] (9,489 [1,925])	60,886 [55,801] (60,886 [55,801])	14140 (14,140)	2,852 (2,817)	0 (0)					
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数							
	12,499.61 ㎡		1,716 1,688		868,000		座席数増（2） 大学全体					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要									
	17,497.24 17,308.50 ㎡		総合スタジアムスタンド、各グラウンド内のトイレ、更衣室、 ステーションキャンパス内トレーニングスタジオ					スタジオ新設（2） 大学全体				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度					
	教員1人当り研究費等	433千円	433千円	図書購入費	5,240千円	5,240千円	5,240千円	図書費には、電子 ジャーナル、データ ベースの整備費（運 用コスト含む）を含 む。				
	共同研究費等	9,100千円	9,100千円	設備購入費	38,200千円	38,200千円	38,200千円					
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,460千円	第2年次 1,540千円	第3年次 1,540千円	第4年次 1,540千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円					
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等										

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	武庫川女子大学					学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	3年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
文学部	4	510	3年次 67	2,424	—	0.97	0.90	—	昭和33	—	
日本語日文学科	4	150	3年次 25	650	学士 (日本語日文学)	0.97	0.89	—	昭和33	兵庫県西宮市池開町6番46号	
英語文化学科	4	200	3年次 25	850	学士 (英語文化学)	0.96	0.92	—	昭和33	同上	
教育学科	4	—	—	250	学士 (教育学)	—	—	—	昭和38	同上	平成31年4月学生募集停止、3年次編入学定員は令和3年4月学生募集停止
心理・社会福祉学科	4	160	3年次 17	674	学士 (心理学)又は (社会福祉学)	0.98	0.89	—	平成12	同上	
教育学部	4	240	3年次 25	745	—	0.94	0.92	令和元	令和元	—	
教育学科	4	240	3年次 25	745	学士 (教育学)	0.94	0.92	令和元	令和元	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和元年度設置
健康・スポーツ科学部	4	180	3年次 20	730	—	0.99	0.88	令和元	平成23	—	
健康・スポーツ科学科	4	180	3年次 20	730	学士 (健康・スポーツ科学)	0.99	0.88	令和元	平成23	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和元年度定員変更(30)、3年次編入学(5)
生活環境学部	4	315	3年次 30	1,765	—	0.98	1.02	令和元	平成6	—	
生活環境学科	4	165	3年次 20	665	学士 (生活環境学)	1.00	1.01	令和元	平成6	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和元年度定員変更(35)
食物栄養学科	4	—	3年次 10	420	学士 (食物栄養学)	—	—	—	平成6	同上	令和2年4月学生募集停止、3年次編入学定員は令和4年4月学生募集停止
情報メディア学科	4	150	—	600	学士 (情報メディア学)	0.99	1.02	—	平成6	同上	
建築学科	4	—	—	80	学士 (建築学)	—	—	—	平成18	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年4月学生募集停止
食物栄養科学部	4	280	—	560	—	0.85	0.78	令和2	令和2	—	
食物栄養学科	4	200	—	400	学士 (食物栄養学)	0.89	0.79	令和2	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和2年度設置
食創造科学科	4	80	—	160	学士 (食創造科学)	0.77	0.78	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
建築学部	4	85	—	170	—	1.05	0.96	令和2	令和2	—	
建築学科	4	45	—	90	学士 (建築学)	1.17	1.11	令和2	令和2	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年度設置
景観建築学科	4	40	—	89	学士 (景観建築学)	0.92	0.80	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
音楽学部	4	50	—	200	—	0.82	0.64	—	平成21	—	
演奏学科	4	30	—	120	学士 (声楽)又は(器楽)	0.63	0.43	—	平成21	兵庫県西宮市池開町6番46号	
応用音楽学科	4	20	—	80	学士 (応用音楽)	1.10	0.95	—	平成21	同上	
薬学部(6年制)	6	210	—	1,260	—	0.89	0.58	—	平成18	—	
薬学科	6	210	—	1,260	学士 (薬学)	0.89	0.58	—	平成18	兵庫県西宮市甲子園九番町11番68号	
薬学部(4年制)	4	40	—	160	—	0.83	0.75	—	平成18	—	
健康生命薬科学科	4	40	—	160	学士 (薬科学)	0.83	0.75	—	平成18	同上	
看護学部	4	80	—	320	—	0.99	1.03	—	平成27	—	
看護学科	4	80	—	320	学士 (看護学)	0.99	1.03	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号	
経営学部	4	200	—	400	—	1.07	0.85	令和2	令和2	—	
経営学科	4	200	—	400	学士 (経営学)	1.07	0.85	令和2	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和2年度設置
大学全体	—	2,190	3年次 142	8,743	—	0.94	—	—	—	—	

大学 の 名 称	武庫川女子大学大学院					学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	2	備 考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
文学研究科											
日本語日本文学専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(文学)	0.37	0.16	—	昭和46	兵庫県西宮市池開町6番46号	
日本語日本文学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(文学)	0.22	0.33	—	平成3	同上	
英語英米文学専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(文学)	0.08	0.16	—	昭和46	同上	
英語英米文学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(文学)	0.44	0.00	—	平成12	同上	
教育学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(教育学)	0.24	0.16	—	平成17	同上	
臨床心理学専攻(修士課程)	2	20	—	40	修士(臨床心理学)	0.57	0.65	—	平成11	同上	
臨床教育学研究科											
臨床教育学専攻(修士課程)	2	16	—	32	修士(臨床教育学)	0.77	0.43	—	平成6	同上	
臨床教育学専攻(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(臨床教育学)又は(教育学)又は(臨床心理学)	0.38	0.33	—	平成9	同上	
健康・スポーツ科学研究科											
健康・スポーツ科学専攻(修士課程)	2	20	—	40	修士(健康科学)又は(スポーツ科学)	0.22	0.15	—	平成23	同上	
生活環境学研究科											
食物栄養学専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(食物栄養学)	0.45	0.50	—	昭和41	同上	
食物栄養学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(食物栄養学)	1.00	0.50	—	平成2	同上	
生活環境学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(生活環境学)又は(情報科学)(7学)	0.08	0.00	—	平成12	同上	
生活環境学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(生活環境学)又は(情報科学)(7学)	0.16	0.00	—	平成12	同上	
建築学専攻(修士課程)	2	—	—	—	修士(建築学)	—	—	—	平成18	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年4月学生募集停止
建築学専攻(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(建築学)	—	—	—	平成18	同上	令和2年4月学生募集停止
建築学研究科											
建築学専攻(修士課程)	2	22	—	44	修士(建築学)	0.99	0.86	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
建築学専攻(博士後期課程)	3	2	—	4	博士(建築学)	0.25	0.00	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
景観建築学専攻(修士課程)	2	6	—	12	修士(景観建築学)	2.33	2.33	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
景観建築学専攻(博士後期課程)	3	1	—	2	博士(景観建築学)	0.00	0.00	令和2	令和2	同上	令和2年度設置
薬学研究科											
薬学専攻(博士課程)	4	2	—	8	博士(薬学)	0.12	0.50	—	平成24	兵庫県西宮市甲子園九番町11番68号	
薬科学専攻(修士課程)	2	30	—	60	修士(薬科学)	0.24	0.26	—	平成22	同上	
薬科学専攻(博士後期課程)	3	2	—	6	博士(薬科学)	1.16	0.50	—	平成24	同上	
看護学研究科											
看護学専攻(修士課程)	2	15	—	27	修士(看護学)	0.84	0.86	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号	令和3年度定員変更(3)
看護学専攻(博士後期課程)	3	5	—	11	博士(看護学)	2.04	0.80	—	平成29	同上	令和3年度定員変更(2)
大学院全体	—	205	—	430	—	—	—	—	—	—	

大学 の 名 称	武庫川女子大学短期大学部					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地
	年	人	年次人	人		倍	倍			
日本語文化学科	2	100	—	200	短期大学士 (日本語文化)	0.84	0.61	—	昭和26	兵庫県西宮市池開町6番46号
英語キャリア・コミュニケーション学科	2	100	—	200	短期大学士 (英語コミュニケーション)	0.67	0.40	—	昭和25	同上
幼児教育学科	2	150	—	300	短期大学士 (幼児教育学)	0.56	0.38	—	昭和26	同上
心理・人間関係学科	2	100	—	200	短期大学士 (心理・人間関係学)	0.75	0.55	—	昭和62	同上
健康・スポーツ学科	2	80	—	160	短期大学士 (健康・スポーツ学)	0.59	0.48	—	昭和30	同上
食生活学科	2	80	—	160	短期大学士 (食生活学)	0.62	0.62	—	昭和26	同上
生活造形学科	2	90	—	180	短期大学士 (生活造形学)	0.85	0.74	—	昭和25	同上
短期大学全体	—	700	—	1,400	—	0.69	—	—	—	—

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5. 教員組織の状況

(掲載省略)

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届出時 (令和元年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	遵守事項 完成年度前に定年年齢(66歳)を超える教授3人については、余人をもって代えがたい存在であることから、理事会において学部完成年度末までの雇用継続が理事会において承認されている。完成年度までの教育研究活動の継続に問題はないが、教員組織編成の将来構想について検討、右記実施計画を策定した。	履行中 完成年度末時点で59歳以下の教授2人、准教授1人、助教1人を中心に、将来的にも教育・研究の継続性は維持されると判断しているが、より確実とするため、①若手人材を意識的に採用するべく中期的な人員計画を策定する。②募集は公募形式を中心とし、特に高年齢に偏らないよう年齢構成に留意して募集する。③教員採用において年齢構成のバランスについてこれまで以上に厳格な確認、協議を行う。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<建築学部 景観建築学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

【武庫川女子大学FD推進委員会】

平成20年1月に学長直属の全学組織として設置。構成員は、全学部学科等から選出された委員(各1人)と教務部長及び学長が委嘱した委員(令和3年度は21人)。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

【武庫川女子大学FD推進委員会】

令和2年度の委員会の開催は4回(7・10・12・3月)、出席率は68.8%。(4回の平均)。

c 委員会の審議事項等

【武庫川女子大学FD推進委員会】

- (1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項
- (5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項
- (6) 教員の教授活動の支援に関する事項
- (7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

【武庫川女子大学FD推進委員会】

- ア. 遠隔授業導入に伴う教育・学修活動の現状把握、取り組み事例の紹介
- イ. 遠隔授業導入に伴う後期授業アンケート実施項目の検討
- ウ. オンラインによるFD企画の実施(ライブ型研修、オンライン動画公開)
- エ. FDニュースの編集・発行

令和3年度も引き続き、研修会等の実施はオンラインを含めた形で継続していく。

なお、昨年度、コロナ禍において複数回実施した学生・教員対象のアンケート結果を元に、withコロナ・afterコロナにおける学生の学びや授業改善をキーワードに、大学教育のあり方について検討を進めていく予定である。

【建築学部・研究科におけるFD活動】

建築学部・建築学研究科における独自のFD活動としては、全ての科目の毎日の授業について授業報告書の提出を義務付け、各教員が他の教員の授業内容を確認、点検できるようにする。

【上記の他、大学として行っているFD/SD活動の内容】

- オ. 新任教員研修
- カ. 授業改善奨励制度
- キ. 遠隔授業推進特別チームの編成

b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

ア. 遠隔授業導入に伴う教育・学修活動の現状把握、取り組み事例の紹介

- ・「Café FD」等のFD企画の中での意見交換
- ・「FDニュース」での事例紹介
- ・教員・学生対象のアンケート結果の分析

イ. 遠隔授業導入に伴う後期授業アンケート実施項目の検討

- ・学長からの諮問を受けて、従来の授業アンケートの設問を、遠隔・対面・併用全ての科目の共通設問として、結果を比較できる設問への変更案を検討。

ウ. オンラインによるFD企画の実施（ライブ型研修、オンライン動画公開）

- ・全教職員対象FD企画「Café FD」を令和2年8月4日、令和3年3月1日に開催。

エ. FDニュースの編集・発行

- ・「FDニュース第19号」を令和2年12月に発行。ホームページでも公開。

オ. 新任教員研修

例年と同様の15回の集合研修が実施出来ないため、必須事項に特化した内容で計3回、オンラインでの研修を実施した。Googleclassroomを活用してオンデマンド型の資料提示と講義動画を配信し、それに対して参加者から提出されたレポートをオンライン（ライブ）で共有して理解を深めた。

3回の研修後にも、新任教員と学長、副学長、事務局長の他、先輩教員のフリーディスカッションをオンラインで実施したり、回数を減らしたことで見送りとなった内容については後期にオンデマンド教材を作成して、配信した。この経験を踏まえ、令和3年度は対面中心から全オンラインまでの3つの実施方式による15回のプログラムを計画し、緊急事態に備えている。

カ. 授業改善奨励制度

日々の教育活動の中で授業改善につながるより良い授業方法の工夫と実践に取り組む教員への奨励制度。

キ. 遠隔授業推進特別チームの編成

コロナ禍において遠隔授業を進めるにあたり、全学生、全教員に円滑かつ実質的な学習活動を行うための方策を徹底するため、特別チームを編成した。GoogleClassroomを活用した遠隔授業の方針を決め、通信システムをハード面の整備、マニュアルやガイドラインの作成、教員研修等に取り組んだ。また、教員・学生に対して複数回じめとするアンケートを実施し、FD推進委員会と連携してコロナ禍における本学の教育の実態を把握し、改善策を検討した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・平成26年4月から、事務局組織に「教育開発支援室」を設置し、大学教育改革推進委員会やFD推進委員会の庶務を担う専任職員を配置して全学の教育活動の支援体制を整えている。同室では、学外で開催されるFD関係の研修会や高等教育に関連する研究会などについて、学内システムを利用して教員に案内し、教員の質向上につながる取り組みを行っている。
- ・コロナ禍において、令和2年度は前期の授業が全て遠隔授業に、後期も遠隔授業を併用した授業運営になったため例年実施している授業公開は行わなかった。その代わりに教員・学生対象にアンケートにより実態を把握し、その情報を共有したり、オンラインを通じての教員間の意見交換の機会を設定することで、授業の質の担保・改善を図った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

例年、以下のa、bの通り実施。

但し、令和2年度の前期については、通常の授業アンケートは実施せず、遠隔授業に関するアンケートを2回実施した。

a 実施の有無及び実施時期

- (1) 実施時期 前期（7月）、後期（12月中旬～1月初）
- (2) 調査方法 学内の「授業アンケートシステム」に学生が直接入力

b 教員や学生への公開状況、方法等

前期及び後期とも、授業担当者は授業期間内に、アンケート結果に対して学生に改善点等を含んだフィードバックを行うとともに、その結果はパソコン上でも閲覧可能としている。

大学院も平成29年度より、原則、全ての研究科において講義科目を対象に実施。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

建築学部景観建築学科は、「自然と共生する社会に貢献できる建築・景観設計技術者を養成する。そして真に人間的な住環境を創生する基礎的能力を、自然との共生や景観映像情報技術の幅広い学びを通して培うことを目的とする」という趣旨・目的の下で設置された。

まだ卒業生が出ていない状況の中、設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価を行う段階にはないが、開設から2年間の平均入学定員超過率は0.92倍と、安定した学生確保を実現している。日本初となる景観建築学科の特色が評価されたものと判断できる。

コロナ禍の中であるが、遠隔授業と感染予防に留意したスタジオ型教育を組み合わせながら教育効果を高めていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

自己点検・評価報告書については認証評価のサイクルにあわせて7年ごとに作成している。

令和3年度報告書は令和5年3月公表予定。

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○武庫川女子大学FD推進委員会規程

平成20年1月1日

規程第1号

改正 平成23年4月1日

平成24年4月1日

平成26年4月1日

平成27年4月1日

平成29年4月1日

平成31年4月1日

令和2年4月1日

(目的)

第1条 武庫川女子大学の教育理念及び学部等の教育目標の実現を目指し、社会に役立つ有為な人材を育成するために、教員の資質向上や、主体的・恒常的に行う授業の内容及び方法の改善に資することを主たる目的とし、大学全体で組織的に教育水準の質的向上を推進するため、学長の下に、武庫川女子大学FD推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(構成)

第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 文学部各学科から推薦された委員 各1名 計3名
- (2) 教育学部から推薦された委員 1名
- (3) 健康・スポーツ科学部から推薦された委員 1名
- (4) 生活環境学部各学科から推薦された委員 各1名 計2名
- (5) 食物栄養科学部から推薦された委員 1名
- (6) 建築学部から推薦された委員 1名
- (7) 音楽学部から推薦された委員 1名
- (8) 薬学部から推薦された委員 1名
- (9) 看護学部から推薦された委員 1名
- (10) 経営学部から推薦された委員 1名
- (11) 共通教育部から推薦された委員 1名
- (12) 教務部長
- (13) 学長が委嘱する委員 若干名

- 2 委員長及び副委員長をおく。委員長及び副委員長は、学長が指名する。
 - 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。欠員を生じた場合は、これを補充しなければならない。補充によって委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。
- (審議事項)

第3条 委員会は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項
- (5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項
- (6) 教員の教授活動の支援に関する事項
- (7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項

(会議)

第4条 委員会は、原則として毎月1回会議を開く。

- 2 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を行う。
- 4 委員長は、必要と認めた場合、委員以外の者を出席させることができる。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、教育開発推進室教育開発・IR推進課が担当する。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、FD推進委員会の意見を聴いて、学長が決定する。

(その他)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関する必要な事項は、委員会の議を経て委員長が定める。

附 則

- 1 この規程は、平成20年1月1日から施行する。
- 2 第2条第3項の規定にかかわらず、委員会設置当初の任期は平成20年1月1日から平成21年3月31日までとする。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。